

「with AI」時代 岐大生の実態と課題

「大学における教育とICT・生成AIに関する実態調査 2026」結果レポート

大学生協では、本年4月～5月に組合員の皆様に「大学における教育とICT・生成AIに関する実態調査」を実施いたしました。

岐阜大学生の調査結果 = 学生のICT環境・活用状況の実態を、このレポートで報告します。

調査項目は、下記の5つのブロックに分けて実施。

- 1) 高校時代の ICT 体験実態
- 2) 大学生のパソコン等の購入実態
- 3) 授業と、授業の受け方 実態
- 4) 研究に関わるコンテンツ利用、生成 AI 利用実態
- 5) パソコンスキルの自覚実態

このレポートでは、下記の視点で分析をしています。

■ 大学生の高校時代の実態から「入学時の学習課題」を探る

いわゆる（0 - 1 課題 の仮説）

■ 大学入学後の4年間の ICT機器・生成AI の利用実態から

いわゆる（1 - 4 課題 の仮説）を探る

■ 大学入学後の4年間のパソコンスキルアップ実態から

いわゆる（4 - 以降 課題 の仮説）を探る

学生の学びを支える岐阜大学生協の取り組みも、合わせて報告申し上げます。

■ 2026年 ICT調査項目 ■

1) 高校時代についてお聞きします

高校時代の授業利用PC機器	高校時代のPC使い方
高校時代の授業利用アプリ	共通テスト受験状況

2) 現在お使いのパソコン等の購入についてお聞きします

大学生の情報機器利用	2台持ち利用	
PCの重量	PC購入時期	PC購入先
PC購入先の決め手	購入PCの改善点	
経験したPCトラブル	PCトラブルへの対処方法	
今後の購入予定		

3) 授業と、授業の受け方についてお聞きします

授業でのデジタルデータ配布実態	ノートティキング実態
ノートティキング方法選択の理由	
オンデマンド型授業実態	
教科書の利用状況	教科書利用の今後への期待

4) 研究に関わるコンテンツ利用、生成AIについてお聞きします

生成AI の利用状況	誰が	どの生成AIを	頻度
テキスト生成、画像生成、動画生成、音楽・音声生成			
生成AIを起点にどのような行動、ゼロクリック問題			
ハルジネーション、著作権侵害、個人情報保護の体験、対応行動			
AI 彼氏・彼女、感情共有、AI エージェント			

5) パソコンスキルについてお聞きします

高校時代のパソコンスキル自覚	大学生のパソコンスキル自覚
パソコンスキルの学び方	スキルアップ上昇度 認識
PCによるレポート作成体験	プレゼン体験
身に着けたいスキル	

■「大学における教育とICT・生成AIに関する実態調査 2026」結果概要 ■

「with AI」時代 岐大生の実態と課題

※「with AI」時代とは、ネット検索結果は「AIによる概要」表示、ICT 機器 OS にも AI が組み込まれる時代のこと

- ◇ 母集団に対する回収率からは、データの信頼度は 1 年生±5%、上級生全体で±10%、かなり女性にかたよっている。
学部別分析を視野に、アンケート回数数のアップは、引き続き課題。

1) 高校時代の ICT 体験実態

- 高校時代の「自分専用機 保有率は 10% ほど」
- 授業のPCは Windows OS 以外メインが 約40%弱
- 高校授業で MS Office を使用する頻度は、かなり低い
- ※「O-1 課題 の仮設」：大学入学後利用が多くなる Win OS、MS Office 基本操作への不安解消は、入学直後の課題。
(大学入学前後に、中学・高校時代の「再学習」がおすすめ)

2) 大学生のパソコン等の購入実態

- 大学受験後 ~ 入学前に購入 90%台で集中している。
- スマホ+パソコンに、タブレットも併用する学生が増えている。
1 年生のみだと 41.8%/2025 → 54.9%/2026
- 学年が上がるにつれて増える不満点は、下記の3点。
重くて持ち運びが困難、電池駆動時間が短い、動作速度が遅い
- ※「O-1 課題 の仮設」：入学時に「4年間を視野に入れたパソコンの購入基準」を強く意識することが重要。

3) 授業と、授業の受け方 実態

- ほとんどの授業でデジタルデータが配布されている。
- オンデマンド授業は、6割以上が「経験しなくなっている」
- デジタルノートティキнгは、1 年生だけをみると47.2%
デジタルデータの配布が、メインの後ろ盾。
- その一方、紙の教科書が利用されている授業は、70%。
電子教科書への期待は、20% 前後。
- 授業で配布されているデジタルデータを「教科書として」に活用する
「学生の学修スタイル」が定着しつつある。
- 生成 AI を自分のスキルアップに生かそうと学生は模索している。

4) 研究に関わるコンテンツ利用、生成 AI 利用実態

- 「with AI」(95%が身近に AI に触れている) という状況。
- 利用状況は「無料サービス」ChatGPT などが中心。
- 無料版、有料版の差が意識されず、費用効果の知識や実感がない状況がうかがわれる。
- 岐阜大学のMS包括ライセンスで無料利用できる「有料版 Copilot Chat (LLMアクセスのみ)」は、全学で 10.2%ほどが認知。
- 利用の主な用途は、下記のとおり。AI 利用に不安度持つ学生は 4割。「ゼロクリック状況」「AI 彼氏・彼女」は常態化か？

レポート作成・学習	62.0%
個人利用(個人相談)	30.3%
論文作成・研究	13.5%
- 身につけたいスキルとして生成 AI を上げた回答は全学で 31%。
上級生ほど希望は高い傾向にある。

※「O-1 課題 の仮設」：生成 AI を基礎から学ぶ場への要求は高い。

5) パソコンスキルの自覚実態

- パソコンスキルの学び方の結果

ネット利用(生成 AI を除く)	49.2%
生成 AI を利用	20.5%
講座・授業利用	39.9%
友人・家族から教わった	35.1%
- 4/5月 1 年生の 授業レポート作成の体験は、78.1%
- 1 年生の プレゼンの体験は、29.4%程度。
2 年生以上になると70%前後 と急上昇する。
- 1 年生において、「Office」スキルアップへの関心が高く、
上級生になると「プレゼン」、「生成 AI」、「プログラミング」スキルアップへの関心が高い。
- 半数近くの学生がアップを希望している「レポート」、「プレゼン」、「Office」、「英語」スキルアップは、生成 AI を活用することで、学習効果を上げられる可能性は高い。
- ※「1-4 課題 の仮設」：スキルアップ目標にあった、生成 AI 活用スキル情報 と 実習形式で体験できる場の提供が必要とされている。

学生の学びを支える岐阜大学生協の取り組み

< 2026年度までの取り組み >

岐阜大学生協では、4（6）年間の学生生活をささえるために、ICT 活用にかかわり、下記のようなサービス、商品提供をおこなっています。2026年新学期においては、下記のような実績がありました。

■ 1 入学準備活動のサポート

合格発表後、対面、オンラインの入学準備説明会を開催し、
2026年度：のべ915名の新入生の参加をいただきました。

■ 2 大学推薦仕様を満たした学習用パソコンの提供

岐阜大学の「個人用ノートパソコンの準備について」2つの基準にもとづいたノートパソコンの提供をおこないました。
2026年度：のべ504台の利用をいただきました。

■ 3 4年間パソコンを使い続けられる保証・修理サービスの提供

販売するノートパソコンに4年間のメーカー保証と動産保証をつけ、年1回の無料点検会も展開、日常的な修理は、学内の中央店で学生さんの修理を受け付けています。

受付点検後の実修理は年119台となっています。修理実施時には、当日に同等性能のノートパソコン無料貸出しするサービスが「学びをとめない」と好評です。

■ 4 岐阜大学の先輩による「パソコン入門講座」の開催

2026年は、下記3つの講座を開催しました。

短期：レポート作成講座（基礎スキル編） 231名申込

短期：レポート作成講座（実験レポート編） 111名申込

短期：発表スキル講座 180名申込

■ 5 学生自身の目標にあった ICT スキルアップ情報、講座の提供

2026年度は、iPad 活用講座などを開催しました。

< 2027年春へ向けて >

岐阜大学生協では、今回の「大学における教育とICT・生成AIに関する実態調査」結果を踏まえ、2027年度新学期にむけて、下記のような取り組みの強化を検討しております。

岐阜大学の教職員、学生、大学院生のみなさんから、率直なご意見、コメント、アドバイスをいただけると幸いです。

■ 入学時の「卒業までを視野に入れたパソコン購入相談活動」強化

2026年にはいり、パソコンの価格上昇が著しく、入学後パソコンを買い替えることが経済的に困難になっています。

「with AI」時代に学ぶ学生へのアドバイスも強化してゆきます。

■ 先輩による「短期：レポート作成講座」の強化

大学生の高校時代の実態、1年次のレポート提出実態を踏まえ、大学入学後利用が多くなる Win OS、MS Office 基本操作などへの不安解消をはかりたく考えています。

■ 生成 AI を基礎から学ぶ場、ICT 環境の提供にチャレンジします

在学中4（6）年間の学びに、どれだけ生成 AI が活用できるかが、2027年以降は問われる状況にあります。

まずは、生成 AI 活用の基礎スキルが学べ、実習形式で体験できる講座の開催、AI を生かせるPCの提供を検討しております。

「AIに何をやらせて、成果物を受け取り、自分の成長につなげる」そのノウハウを、大学1年生次から学び始め、4（6）年間で経験値快適に上げてから、社会にでてゆけるきっかけと学び続けられる環境提供（AI PC、Copilot+PC の提供など）にチャレンジしたく考えております。

< 2026年度 学生 ICT 調査結果分析結果 >

- ☆ 調査実施時期 2026年4月 日～5月24日
- ☆ 調査対象 全国（大学生協のある大学）の学部生・大学院生
- ☆ 回収数 28,724名（203大学） **うち岐阜大学生は 736名**
- ☆ 調査方法 Webアンケート

2026年は、下記のようなアンケート回収数となりました。

- 1) 2025年の回収数(609)を超えたが、2024年(742)には届かなかった。
2025 10.9% → 2026 12.0%
※ 1年生の回収率は、300を下回った。（ 354 → 329 → 286 ）
※ 上級生全体の回収率を上げることができた。
※ 院生1年生の名簿が一程度整理でき、回収数が上がった。2025 3名 → 2026 57名
※ アンケート回収に17名の教員から個別協力が得られたことは、成果であった。
- 2) 母集団に対する回収率からは、データの信頼度は ±5% となる。
回収数からみる集計結果の信頼度は、1年生±5%、上級生全体で±10%
アンケート回収数は、かなり女性にかたよっている。

	1年生	2年生	3年生	4年生	総計			
工学部	89	51	46	40	226	2,241		
化学・生命工学科	32	12	15	13	72	619		
機械工学科	17	10	10	7	44	578		
社会基盤工学科	12	7	4	6	29	273		
電気電子・情報工学科	25	17	13	8	63	771		
(空白)	3	5	4	6	18			
応用生物科学部	70	20	23	14	127	694		
応用生命化学科	19	3			22	115		
食農生命科学科	22	4			26	117		
生物圏環境学科	22	10			32	102		
応用生命科学課程			4	3	7	177		
生産環境科学課程			11	6	17	183		
(空白)	7	3	8	5	23		総計	
共同獣医学科	11	4	6	2	7	5	35	193

行ラベル	1年生	在籍	回答率	2年生	在籍	回答率	3年生	在籍	回答率	4年生	在籍	回答率	5年生	在籍	回答率	6年生	在籍	回答率	総計	在籍	回答率	修士	博士					
工学部	89	559	15.9%	51	564	9.0%	46	528	8.7%	40	590	6.8%	7			5			226	2,241	10.1%							
応用生物科学部	70	171	40.9%	20	176	11.4%	23	176	13.1%	14	171	8.2%								127	694			18.3%				
共同獣医学科	11	33	33.3%	4	35	11.4%	6	31	19.4%	2	31	6.5%		35	20.0%		28	17.9%	35	193	18.1%							
教育学部	41	238	17.2%	29	233	12.4%	14	231	6.1%	21	264	8.0%								105	966			10.9%				
地域科学部	24	107	22.4%	18	105	17.1%	16	112	14.3%	10	129	7.8%								68	453			15.0%				
社会システム経営学環	4	31	12.9%	5	30	16.7%	3	31	9.7%	4	35	11.4%								16	127			12.6%				
医学科	21	114	18.4%	7	115	6.1%	6	119	5.0%	6	110	5.5%		7	108		6.5%	4	104	3.8%	51			670	7.6%			
看護学科	26	80	32.5%	7	80	8.8%	9	92	9.8%	9	75	12.0%								51	327			15.6%				
大学院																		57			52	5		1,739				
総計	286	1,333	21.5%	141	1,338	10.5%	123	1320	9.3%	106	1,405	7.5%	14	143	9.8%	9	132	6.8%	679	5,671	12.0%	52	5	736				
行ラベル	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			総計	総計		修士	博士					
回答しない	4			2			3			4									13									
女性	142	523		82	568		65	603		46	572		7	65		6	63		348	51.3%		22	1	371	2,394	42.2%		
男性	140	810		57	770		55	717		56	833		7	78		3	69		318	46.8%		30	4	352	3,277	57.8%		
総計	286	1,333		141	1,338		123	1,320		106	1,405		14	143		9	132		679			52	5	736	5,671			

2024年アンケート回収数

学部	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	総計	回収率	2023年
工学部	130	53	40	35			258	11.6%	2,233
応用生物科学部	54	20	19	14		1	108	15.3%	704
共同獣医学科	10	3	5	6	2	4	30	16.0%	187
教育学部	60	34	26	19			139	14.3%	970
地域科学部	31	12	13	11			67	14.7%	456
社会システム経営学環	8	3	1	2			14	14.9%	94
看護学科	30	10	8	8			56	17.3%	323
医学科	31	10	8	6	2	13	70	10.7%	652
総計	354	145	120	101	4	18	742	13.2%	5,619
回収率	26.8%	10.9%	9.4%	7.1%	2.9%	12.2%	13.2%		
2023年5月在籍者	1320	1328	1271	1416	136	148	5619		

2023年5月在籍者	1320	1328	1271	1416	136	148	5619	
回答しない	7	4	3	3			17	
女性	558	521	559	534	57	48	2277	
男性	762	807	712	882	79	100	3342	
	42.3%	39.2%	44.0%	37.7%	41.9%	32.4%	40.5%	40.5%
	57.7%	60.8%	56.0%	62.3%	58.1%	67.6%	59.5%	59.5%
アンケート回答 女性	187	83	55	56	4	11	396	
アンケート回答 男性	167	62	65	45	0	7	346	
	52.8%	57.2%	45.8%	55.4%	100.0%	61.1%	53.4%	53.4%
	47.2%	42.8%	54.2%	44.6%	0.0%	38.9%	46.6%	46.6%

2025年アンケート回収数

行ラベル	1年生	定員		2年生	24/05 学生数	3年生	24/05 学生数	4年生	24/05 学生数	5年生	24/05 学生数	6年生	24/05 学生数	修士課	博士課	総計	24/05 学生数
工学部	133	510	26.1%	39	559	7.0%	35	540	6.5%	17	530	3.2%				224	2217
応用生物科学部	43	160	26.9%	21	166	12.7%	11	185	5.9%	14	177	7.9%				89	696
共同獣医学科	8	30	26.7%	3	32	9.4%	5	32	15.6%	4	36	11.1%	28	0.0%		20	188
教育学部	60	220	27.3%	16	233	6.9%	18	231	7.8%	23	233	9.9%				117	962
地域科学部	28	100	28.0%	21	104	20.2%	5	106	4.7%	9	115	7.8%				63	449
社会システム経営学環	16	30	53.3%	1	31	3.2%	3	30	10.0%	2	32	6.3%				22	125
医学科	24	110	21.8%	6	117	5.1%	6	117	5.1%	5	109	4.6%	1	105	1.0%	42	650
看護学科	17	80	21.3%	5	80	6.3%	1	81	1.2%	6	84	7.1%				29	321
大学院 教育学															1	1	
大学院 工学研究科															1	1	
総計	329	1240	26.5%	112	1322	8.5%	84	1322	6.4%	80	1316	6.1%	1	133	0.8%	609	5608
行ラベル	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生	
回答しない	3			1			2			3						9	
女性	185			66			47			46						344	2354
男性	141			45			35			31			1			256	3254
総計	329			112			84			80			1			609	5608

1) 高校時代の ICT 機器利用状況 (1/2) 高校時代の利用PC機器・高校時代のPC使い方

■ 高校時代の「自分専用機 保有率は 10% ほど」

＝ 大学入学時に新入生の多くが「4年間使用するパソコン」を購入している。（※ 購入時期のアンケート結果参照）

■ 高校時代に使用していたパソコンの OS は、「Windows OS 以外メインだった」が約40%弱 もある。

＝ Windows OS でのファイル操作などに慣れていない学生が一定程度存在する。

■ 2026年新入生の高校時代における「教材類のダウンロード未体験者は 74.5%（1年生）」と高い。

＝ 大学入学前後に、できれば中学、高校時代に学んだ Windows OS 基本操作の「再学習」がおすすめ。

	2025					2026			
高校時代のPC	全国	岐阜大学	1年生	上級生		全国	岐阜大学	1年生	上級生
01_高校の準備したPCデバイス(貸与)	67.7%	68.5%	71.4%	65.0%		47.1%	66.0%	74.8%	60.4%
02_高校が指定し、購入したPCデバイス(購入)	20.6%	11.7%	10.9%	12.5%		27.9%	10.6%	12.9%	9.1%
03_高校ではPCデバイスを使用していない	12.3%	9.0%	2.7%	16.4%		25.0%	23.4%	12.2%	30.4%

高校時代 授業使用していたパソコン等	2023	2024	2025	1年生	上級生	2026	1年生	上級生
WindowsPC	51.5%	48.1%	45.3%	43.5%	47.5%	58.7%	62.9%	55.3%
Chromebook	5.7%	7.0%	11.8%	12.5%	11.1%	18.3%	18.3%	18.2%
iPad	19.2%	16.9%	21.2%	25.2%	16.4%	17.0%	12.0%	21.1%
Mac	4.5%	2.9%	1.8%	1.2%	2.5%	2.3%	2.4%	2.2%
不明	19.2%	18.2%	9.0%	2.7%	16.4%	3.7%	4.4%	3.2%

2026	1年生					上級生				
高校時代のハードウェア利用	キーボード入力	ペン入力	音声入力	カメラ利用	教材類のダウンロード	キーボード入力	ペン入力	音声入力	カメラ利用	教材類のダウンロード
01_大いに使用していた	56.2%	9.6%	0.4%	8.8%	4.4%	48.9%	13.7%	1.6%	8.6%	8.3%
02_ときどき使用していた	27.5%	13.9%	0.4%	34.7%	21.1%	34.2%	15.3%	2.6%	31.0%	22.7%
03_あまり使用しなかった	11.6%	25.5%	16.7%	37.1%	31.9%	13.7%	23.0%	14.7%	33.2%	32.6%
04_使用しなかった	4.8%	51.0%	82.5%	19.5%	42.6%	3.2%	47.9%	81.2%	27.2%	36.4%

1) 高校時代の ICT 機器利用状況 (2/2) 高校時代の利用アプリ・共通テスト

- 高校までの授業で最も利用されているのは「授業支援 ICT ツール」類（2026年1年生では Total 97%）
- 高校時代に授業で MS Office を使用する頻度は、2026年1年生でも「27.4%」程度と低い
 = 上記2点の傾向は、上級生より 2026年度新入生＝1年生の方が高くなっている。
 = Windows OS だけでなく、大学入学後利用することが多くなる MS Office 操作への不安解消は、入学直後の課題といえる。
- 岐阜大学の受験時に「情報1」科目をほぼ受験している。

高校時代に授業で使用していたアプリ 2026	1年生	上級生	総計	区分
MetaMoJi	31.5%	25.5%	22.1%	ICTツール
ロイロノート・スクール	36.3%	16.7%	19.1%	ICTツール
Google Classroom	30.1%	19.9%	18.9%	ICTツール
Classi	4.1%	2.8%	2.6%	ICTツール
マイクロソフト全般	27.4%	12.4%	14.3%	Office
PowerPoint	10.3%	5.2%	5.6%	Office
Word	8.2%	3.2%	4.0%	Office
Excel	6.8%	2.8%	3.4%	Office
Microsoft 365	1.4%	1.2%	1.0%	Office
OneNote	0.7%	0.0%	0.2%	Office
Google サービス	2.7%	0.8%	1.2%	Office
Microsoft Teams	33.6%	13.1%	16.5%	Web 会議
Zoom	1.4%	2.4%	1.6%	Web 会議

■ MetaMoJi :

株式会社MetaMoJiが開発する、紙のように自由に手書きができるデジタルノートや協働作業、学習支援のためのアプリケーションシリーズ

■ ロイロノート・スクール :

小学校から大学まで全ての教科で使える、1人1台端末に向けたクラウド型の授業支援・協働学習プラットフォーム。最大の魅力は、カードを繋げるだけで直感的にプレゼン資料が作れる操作性。

■ Google Classroom :

教師と生徒が学校の授業や課題をオンラインで管理・共有できる無料の教育プラットフォームです。課題の作成や提出、採点、連絡事項の通知などをペーパーレスで効率よく行えます。

大学受験時の選択科目	1年生	2年生
「情報I」を選択科目とした	97.1%	89.8%
「情報I」を選択科目としていない	0.7%	3.1%
共通テストを受験していない	2.2%	7.1%

大学入学共通テストの「情報I」は、主に大問4つで構成され、情報社会、コミュニケーション、コンピュータとプログラミング、ネットワークやデータ活用など幅広い分野から出題されます。長い会話文や図表、実生活の課題を読み解く思考力が問われます。

Office 系の操作が問われるわけではない。

2) 現在お使いのパソコン等の購入・利用状況 (1/4) 大学生の情報機器利用・2台持ち利用

	2025				2026		
自分用機器	1年生	上級生	総計		1年生	上級生	総計
ノートパソコン & スマートフォン	54.7%	65.4%	59.6%		38.5%	53.8%	47.8%
ノートパソコン & スマートフォン & タブレット	41.6%	32.5%	37.4%		54.9%	41.1%	46.5%
その他	3.6%	1.8%	3.6%		6.6%	5.1%	5.7%

	2025				2026		
授業持ち込み	1年生	上級生	総計		1年生	上級生	総計
PC・タブレット (iPad等) の両方を持っていくことが多い	37.0%	26.9%	37.0%		48.4%	23.1%	34.9%
iPadのみ持っていくことが多い	20.3%	39.8%	37.7%		23.6%	39.8%	32.3%
PCのみ持っていくことが多い	37.7%	19.4%	20.3%		14.3%	23.1%	19.0%
授業によって決めているのでどちらとも言えない	4.3%	7.5%	4.3%		13.0%	11.8%	12.4%
どちらも持っていかない	1.4%	7.5%	1.4%		0.6%	2.2%	1.4%

PCタブレット種別	1年生	上級生	総計
Windows ノートPC(ディスプレイとキーボードが分離しないタイプ)	80.6%	85.8%	83.8%
iPad	43.7%	31.1%	36.0%
MacBook	3.2%	6.3%	5.1%
Androidタブレット	2.8%	2.3%	2.5%
Windows 2in1ノートPC(ディスプレイとキーボードが分離するタイプ)	1.4%	2.0%	1.8%
Chromebook	0.0%	1.1%	0.7%
それ以外	6.3%	3.6%	4.7%
わからない	4.6%	1.1%	2.5%

PCタブレット種別	教育学部	地域科学部	社会システム工学部	応用生物科	共同獣医学部	大学院	看護学科	医学科	総計	
Windows ノートPC(ディスプレイとキーボードが分離しないタイプ)	81.7%	80.6%	93.8%	91.5%	87.2%	74.3%	82.1%	72.0%	66.7%	83.8%
iPad	28.8%	13.4%	50.0%	37.9%	27.2%	37.1%	30.4%	56.0%	74.5%	36.0%
MacBook	4.8%	9.0%	6.3%	2.7%	0.0%	5.7%	14.3%	2.0%	15.7%	5.1%
Androidタブレット	1.0%	3.0%	0.0%	1.8%	6.4%	0.0%	1.8%	2.0%	2.0%	2.5%
Windows 2in1ノートPC(ディスプレイとキーボードが分離するタイプ)	1.0%	3.0%	0.0%	0.9%	2.4%	2.9%	3.6%	4.0%	0.0%	1.8%
Chromebook	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	2.9%	1.8%	0.0%	0.0%	0.7%
それ以外	10.6%	1.5%	0.0%	3.1%	3.2%	8.6%	3.6%	10.0%	2.0%	4.7%
わからない	1.9%	4.5%	0.0%	1.3%	2.4%	5.7%	0.0%	8.0%	2.0%	2.5%

- ICT 機器の保有状況は、大きく変化しつつある。高校時代から使い慣れているスマホに、パソコン+タブレットも併用する学生が増えている。いわゆる「PC+タブレット」活用である。

1年生のみだと

41.8%/2025 → 54.9%/2026

- 「PC+タブレット」活用のスタイルとして、授業への持ち込みは、下記のようにになっている。

	1年生	上級生
PC+タブレット	48.4%	23.1%
iPadのみ	23.6%	39.8%
PCのみ	14.3%	23.1%

- ICT 機器の所有率をみると、左表のように1年生の iPad 保有率が高くなっている。(1年生 43.7%、上級生 31.1%)

また、学部別に見た場合、下記の学部の iPad 保有率が高い

全学部の平均	36.0%
医学科	74.5%
看護学科	56.0%
社会システム経営学環	50.0%

2) 現在お使いのパソコン等の購入・利用状況 (2/4)

PCの重量・PC購入時期
PC購入先・PC購入の決め手

PC重さ	1年生	上級生	総計
日常的に大学へ持ち運びできる重さ(目安: 1.5kg未満)	88.8%	71.6%	78.3%
日常的に持ち運びするにはやや重い(目安: 1.5～2.5kg程度)	9.4%	25.8%	19.4%
持ち運びする事を想定していない重さ(目安: 3kg程度以上)	0.0%	0.4%	0.3%
持っているのはタブレット(iPad、Androidタブレット)のみ	1.0%	0.9%	1.0%

■ 岐大生の購入しているパソコンの重さは、持ち歩きに便利な 1.5Kg 以下のモデルに集約されてきている。

■ 高校時代は自分専用機の保有率は10%の中で、大学学修用パソコンの購入時期は、1年生は大学受験後～入学前に90%台で集中している。

PC購入時期	1年生	上級生	総計
高校入学以前	0.7%	1.1%	1.0%
高校から指定され入学時に購入	0.7%	0.9%	0.8%
高校指定はなかったが高校在学中に購入	3.5%	4.2%	3.9%
大学受験後～入学前	90.2%	75.3%	81.1%
大学1年生	3.1%	8.4%	6.4%
大学2年生		2.4%	1.5%
大学3年生		1.1%	0.7%
大学4年生以降		3.6%	2.2%
わからない・覚えていない		0.7%	0.4%

■ パソコンの購入先は、2026年 新入生において、大学生協での購入率が、上級生に対して高くなっている。

1年生 47.9% 上級生 33.8%

学部別にみると、下記学部での利用が全体より多くなっている
教育学部、医学科

■ パソコンの購入理由のトップは、全学で4年間の利用する上で「安心だから(購入後のサポート等)」30.4%とトップ。
逆に「価格」は1年生 16.8%、上級生 25.3%と変化。

PC購入先	1年生	上級生	総計
大学生協	47.9%	33.8%	39.3%
家電量販店の店舗	24.1%	31.6%	28.7%
オンラインショップ等のWeb通販(Amazon等)	12.6%	14.4%	13.7%
Apple、Dell、Fujitsu、HP等メーカー直販サイト	10.1%	13.3%	12.1%
知り合いからいただいた等	2.1%	2.0%	2.0%
その他	1.4%	2.7%	2.2%

PC購入理由	1年生	上級生	総計
安心だから(購入後サポート等)	35.7%	27.1%	30.4%
価格	16.8%	25.3%	22.0%
メーカー/ブランド	16.8%	20.2%	18.9%
欲しい機種	10.5%	10.2%	10.3%
重量	9.1%	8.2%	8.6%
知り合い・関係者が購入先にいたから	2.8%	2.4%	2.6%
デザイン性	2.8%	1.8%	2.2%
大学の先輩のおすすめ	2.4%	0.9%	1.5%
パソコン活用講座があったから	1.0%	0.9%	1.0%
プレゼントやキャンペーンにひかれたから	0.3%	0.7%	0.5%

全学										
PC購入先	教育学部	地域科学部	社会システム学部	工学部	応用生物科学部	共同獣医学部	大学院	看護学科	医学科	総計
大学生協	45.7%	36.8%	50.0%	42.0%	43.3%	28.6%	31.6%	29.4%	29.4%	39.3%
家電量販店の店舗	38.1%	23.5%	25.0%	23.9%	24.4%	28.6%	33.3%	39.2%	33.3%	28.7%
オンラインショップ等のWeb通販(Amazon等)	7.6%	14.7%	25.0%	14.6%	14.2%	22.9%	14.0%	15.7%	7.8%	13.7%
Apple、Dell、Fujitsu、HP等メーカー直販サイト	4.8%	14.7%		14.6%	11.8%	8.6%	19.3%	5.9%	17.6%	12.1%
知り合いからいただいた等	1.9%	4.4%		0.9%	1.6%	8.6%		2.0%	3.9%	2.0%
その他	1.0%	2.9%		2.7%	2.4%	2.9%		3.9%	2.0%	2.2%
(空白)	1.0%	2.9%		1.3%	2.4%		1.8%	3.9%	5.9%	2.0%
1年生										
PC購入先	教育学部	地域科学部	社会システム学部	工学部	応用生物科学部	共同獣医学部	大学院	看護学科	医学科	総計
大学生協	61.0%	45.8%	75.0%	48.3%	48.6%	27.3%		26.9%	52.4%	47.9%
家電量販店の店舗	31.7%	20.8%	25.0%	22.5%	17.1%	18.2%		42.3%	23.8%	24.1%
オンラインショップ等のWeb通販(Amazon等)	4.9%	4.2%		18.0%	12.9%	27.3%		19.2%		12.6%
Apple、Dell、Fujitsu、HP等メーカー直販サイト		20.8%		7.9%	12.9%	18.2%		3.8%	23.8%	10.1%
知り合いからいただいた等	2.4%	4.2%		2.2%	1.4%	9.1%				2.1%
その他					4.3%			3.8%		1.4%
(空白)		4.2%		1.1%	2.9%			3.8%		1.7%
上級生										
PC購入先	教育学部	地域科学部	社会システム学部	工学部	応用生物科学部	共同獣医学部	大学院	看護学科	医学科	総計
大学生協	35.9%	31.8%	41.7%	38.0%	36.8%	29.2%	31.6%	32.0%	13.3%	33.8%
家電量販店の店舗	42.2%	25.0%	25.0%	24.8%	33.3%	33.3%	33.3%	36.0%	40.0%	31.6%
オンラインショップ等のWeb通販(Amazon等)	9.4%	20.5%	33.3%	12.4%	15.8%	20.8%	14.0%	12.0%	13.3%	14.4%
Apple、Dell、Fujitsu、HP等メーカー直販サイト	7.8%	11.4%		19.0%	10.5%	4.2%	19.3%	8.0%	13.3%	13.3%
知り合いからいただいた等	1.6%	4.5%			1.8%	8.3%		4.0%	6.7%	2.0%
その他	1.6%	4.5%		4.4%		4.2%		4.0%	3.3%	2.7%
(空白)	1.6%	2.3%		1.5%	1.8%		1.8%	4.0%	10.0%	2.2%

1年生										
PC購入理由	教育学部	地域科学部	社会システム学部	工学部	応用生物科学部	共同獣医学部		看護学科	医学科	総計
安心だから(購入後サポート等)	43.9%	37.5%	75.0%	36.0%	41.4%	18.2%		26.9%	9.5%	35.7%
メーカー/ブランド	19.5%	20.8%	25.0%	15.7%	15.7%	27.3%		15.4%	9.5%	16.8%
価格	19.5%	20.8%		12.4%	14.3%	9.1%		34.6%	19.0%	16.8%
欲しい機種	2.4%	8.3%		14.6%	8.6%	27.3%		3.8%	19.0%	10.5%
重量	2.4%	4.2%		9.0%	11.4%	9.1%		11.5%	19.0%	9.1%
デザイン性	4.9%			3.4%	1.4%			3.8%	4.8%	2.8%
知り合い・関係者が購入先にいたから	4.9%	4.2%		3.4%	1.4%	9.1%				2.8%
大学の先輩のおすすめ	2.4%			1.1%	2.9%				14.3%	2.4%
パソコン活用講座があったから				2.2%					4.8%	1.0%
プレゼントやキャンペーンにひかれたから				1.1%						0.3%
(空白)		4.2%		1.1%	2.9%			3.8%		1.7%
上級生										
PC購入理由	教育学部	地域科学部	社会システム学部	工学部	応用生物科学部	共同獣医学部	大学院	看護学科	医学科	総計
安心だから(購入後サポート等)	32.8%	18.2%	33.3%	28.5%	31.6%	33.3%	24.6%	20.0%	16.7%	27.1%
価格	21.9%	25.0%	16.7%	26.3%	33.3%	29.2%	24.6%	32.0%	10.0%	25.3%
メーカー/ブランド	17.2%	36.4%	16.7%	18.2%	10.5%	12.5%	21.1%	24.0%	33.3%	20.2%
欲しい機種	6.3%	2.3%	16.7%	11.7%	12.3%	8.3%	15.8%	0.0%	16.7%	10.2%
重量	10.9%	9.1%	16.7%	8.8%	7.0%	4.2%	5.3%	4.0%	10.0%	8.2%
知り合い・関係者が購入先にいたから	1.6%	2.3%		4.4%			1.8%	4.0%	3.3%	2.4%
デザイン性	3.1%			0.7%	1.8%		1.8%	12.0%		1.8%
パソコン活用講座があったから	3.1%	2.3%			1.8%					0.9%
大学の先輩のおすすめ	1.6%					8.3%	1.8%			0.9%
プレゼントやキャンペーンにひかれたから		2.3%				4.2%	1.8%			0.7%
(空白)	1.6%	2.3%		1.5%	1.8%		1.8%	4.0%	10.0%	2.2%
総計	64	44	12	137	57	24	57	25	30	450

2) 現在お使いのパソコン等の購入・利用状況 (3/4)

購入PCの改善点
経験したPCトラブル・PCトラブルへの対処方法

パソコンの気になること	1年生	上級生	総計
特になし	75.8%	48.0%	58.8%
重くて持ち運びが困難	10.7%	24.1%	18.9%
バッテリー駆動時間が短い	5.0%	25.5%	17.5%
動作速度が遅い	3.2%	10.7%	7.8%
デザインが良くない	5.0%	5.0%	5.0%
パソコントラブル時の対応サービス	2.8%	3.2%	3.1%
起動が遅い	1.1%	3.4%	2.5%

- 購入後のパソコンについての不満は、左表にみるように1年次において、特になし 75.8% から上級生 48.0% と入学時に購入したパソコンへの不満が高くなってゆく傾向にある
- 学年が上がるにつれて増える不満点は、下記の3点。4年間でパソコンを買い替える学生はいないことを考えると入学時に「4年間で視野に入れた購入基準」を強く意識することが重要となっている。

	1年生	上級生
重くて持ち運びが困難	10.7%	24.1%
バッテリー駆動時間が短い	5.0%	25.5%
動作速度が遅い	3.2%	10.7%

PCトラブル	1年生	上級生	総計
特になし	66.4%	56.0%	60.1%
アプリやサービスの使い方がよくわからなかった	26.6%	19.1%	22.0%
ネットワークにつながらなくなった	4.9%	8.7%	7.2%
物理的な故障や破損(液晶割れ等)	0.7%	9.8%	6.3%
電源が入らない	3.1%	7.8%	6.0%
PCに飲み物をこぼしてしまった	0.7%	2.0%	1.5%
ウイルスに感染した	0.3%	1.1%	0.8%

- パソコンのトラブル体験は、下記のように変化している。
1年次 28.6% が「アプリやサービスの使い方がよくわからなかった」と高い。想定される項目は下記の3つ。
 - ・高校時代に利用していた ICT システムから、岐阜大学の4つの学修システムへ切替
 - ・高校時代の経験から、大学入学後とまどう1年生の比率
Windows OS になれていない層 37.1%
(高校時代の利用していたPCはWinは 62.9%)
MS Office の操作になれていない層 72.6%
(高校時代に MS Office を利用していた 27.4%)
 - ・学内ネットワーク利用、メール、MS Office、OneDriveなどの初期設定方法、基本操作手順の確認

PCトラブル解決方法	1年生	上級生	総計
トラブルはない	66.1%	54.7%	59.1%
自力で解決(ネットで調べるなど)	23.8%	23.8%	23.8%
友人・家族に相談(友人・家族経由で修理)	14.0%	11.8%	12.6%
何もしていない(トラブルを放置)	2.8%	6.4%	5.0%
生協へ相談(生協を通じて修理)	1.0%	7.6%	5.0%
家電量販店等に相談	0.7%	4.2%	2.9%
電話で相談	0.0%	1.6%	1.0%

- 上級生で大きくアップするのは「故障・破損」関係である。

	1年生	上級生
物理的な故障や破損	0.7%	9.8%
電源が入らない	3.1%	7.8%

- パソコントラブルの解決方法は、下記が上位項目
自力で解決(ネットで調べるなど) 23.8%
友人・家族に相談(友人・家族経由で修理) 12.6%
何もしていない(トラブルを放置) 5.0%
生協へ相談(生協を通じて修理) 5.0%
→ 上級生は 7.6% にアップ

2) 現在お使いのパソコン等の購入・利用状況 (4/4) 今後の購入予定

■ パソコン本体の周辺機器類の保有状況、購入予定は、下記ととおり。

プリンタ	1年生	上級生	総計
家族と共用で所持	45.1%	44.7%	44.8%
自分用に所持	22.4%	37.3%	31.5%
3ヶ月以内に購入を検討	2.8%	0.7%	1.5%
持っていない	29.7%	17.3%	22.1%

モバイルバッテリー	1年生	上級生	総計
家族と共用で所持	10.1%	6.9%	8.2%
自分用に所持	70.6%	77.6%	74.9%
3ヶ月以内に購入を検討	1.4%	0.7%	1.0%
持っていない	17.8%	14.9%	16.0%

スキャナー	1年生	上級生	総計
家族と共用で所持	23.8%	23.8%	23.8%
自分用に所持	11.5%	22.0%	17.9%
3ヶ月以内に購入を検討	0.3%	0.4%	0.4%
持っていない	64.3%	53.8%	57.9%

PDバッテリー	1年生	上級生	総計
家族と共用で所持	4.5%	1.8%	2.9%
自分用に所持	52.8%	42.7%	46.6%
3ヶ月以内に購入を検討	2.4%	1.1%	1.6%
持っていない	40.2%	54.4%	48.9%

ディスプレイ	1年生	上級生	総計
家族と共用で所持	20.6%	13.8%	16.4%
自分用に所持	10.8%	21.3%	17.3%
3ヶ月以内に購入を検討	0.3%	0.9%	0.7%
持っていない	68.2%	64.0%	65.6%

Bluetoothイヤホン	1年生	上級生	総計
家族と共用で所持	0.7%	0.4%	0.5%
自分用に所持	80.8%	85.1%	83.4%
3ヶ月以内に購入を検討	0.7%	1.6%	1.2%
持っていない	17.8%	12.9%	14.8%

マウス	1年生	上級生	総計
家族と共用で所持	10.1%	3.3%	6.0%
自分用に所持	43.4%	69.3%	59.2%
3ヶ月以内に購入を検討	1.7%	1.1%	1.4%
持っていない	44.8%	26.2%	33.4%

電子辞書	1年生	上級生	総計
家族と共用で所持	6.6%	5.3%	5.8%
自分用に所持	57.0%	59.1%	58.3%
3ヶ月以内に購入を検討	0.7%	0.7%	0.7%
持っていない	35.7%	34.9%	35.2%

■ 上級生の保有率が高い周辺機器類は下記のとおり

プリンタ

22.4 → 37.3

スキャナー

11.5 → 22.0

ディスプレイ

10.5 → 21.2

マウス

43.4 → 69.3

関数電卓

31.5 → 51.6

■ 1年生の保有率が高い周辺機器類は下記のとおり

PDバッテリー

52.8 → 42.7

タブレット端末

61.2 → 46.2

デスクトップPC

32.2 → 24.9

■ 下記の項目については、別ページで学部別の傾向を分析している

- ・タブレット
- ・関数電卓
- ・デスクトップPC

タブレット端末	1年生	上級生	総計
家族と共用で所持	4.5%	6.9%	6.0%
自分用に所持	61.2%	46.2%	52.0%
3ヶ月以内に購入を検討	1.7%	0.4%	1.0%
持っていない	32.5%	46.4%	41.0%

スマートフォン	1年生	上級生	総計
自分用に所持	97.2%	98.7%	98.1%
3ヶ月以内に購入を検討	1.0%	0.7%	0.8%
持っていない	1.7%	0.7%	1.1%

- **タブレット端末の保有率は、2026年 全学部の1年生で大きく上がりました。**

医学科は 1年生 90.5% 上級生 90.0% と共に高い

看護学科も 1年生 73.1% 上級生 60.8% と全学部値より高い
- 教育学部、地域科学部は、全学部値より保有率は低いが、1年生の保有率は、上級生の保有率より高くなっている

タブレット端末 学部別	教育学部	地域科学部	社会システム工学部	応用生物	共同獣医	看護学科	医学科	大学院	総計
家族と共用で所持	5.7%	11.8%	6.3%	7.1%	4.7%	5.7%	7.8%	1.8%	6.0%
自分用に所持	39.0%	35.3%	68.8%	50.4%	50.4%	62.9%	66.7%	90.2%	52.0%
3ヶ月以内に購入を検討	1.0%	1.5%		0.9%	0.8%		2.0%	2.0%	1.0%
持っていない	54.3%	51.5%	25.0%	41.6%	44.1%	31.4%	23.5%	7.8%	41.0%
タブレット端末 学部別 1年生	教育学部	地域科学部	社会システム工学部	応用生物	共同獣医	看護学科	医学科		総計
家族と共用で所持	2.4%	12.5%		4.5%	5.7%		3.8%		4.5%
自分用に所持	41.5%	50.0%	75.0%	56.2%	65.7%	81.8%	73.1%	90.5%	61.2%
3ヶ月以内に購入を検討	2.4%			1.1%	1.4%		3.8%	4.8%	1.7%
持っていない	53.7%	37.5%	25.0%	38.2%	27.1%	18.2%	19.2%	4.8%	32.5%
タブレット端末 学部別 上級生	教育学部	地域科学部	社会システム工学部	応用生物	共同獣医	看護学科	医学科	大学院	総計
家族と共用で所持	7.8%	11.4%	8.3%	8.8%	3.5%	8.3%	12.0%	1.8%	6.9%
自分用に所持	37.5%	27.3%	66.7%	46.7%	31.6%	54.2%	60.0%	90.0%	46.2%
3ヶ月以内に購入を検討		2.3%		0.7%					0.4%
持っていない	54.7%	59.1%	25.0%	43.8%	64.9%	37.5%	28.0%	10.0%	46.4%

関数電卓 学年別	1年生	上級生	総計
家族と共用で所持	4.2%	3.6%	3.8%
自分用に所持	31.5%	51.6%	43.8%
3ヶ月以内に購入を検討	3.8%	0.9%	2.0%
持っていない	60.5%	44.0%	50.4%

- 関数電卓の学部別保有率を見ると、授業での利用状況の調査が必要。
- | | | | |
|---------|-----------|-----------------|-------|
| 工学部 | 実験などで利用 | ほぼ全員 | 85.8% |
| 応用生物科学部 | 実験などで利用 | 24.4% | 利用？ |
| 地域科学部 | 統計学の授業で利用 | 25.0% | |
| 教育学部 | 14.3%の利用 | → 理系の専攻で利用 | |
| 看護学科 | 23.5%の利用 | → どの授業で利用か調査が必要 | |
| 医学科 | 13.7%の利用 | → どの授業で利用か調査が必要 | |

関数電卓 学部別	教育学部	地域科学部	社会システム工学部	工学部	応用生物科学部	共同獣医学部	看護学科	医学科	大学院	総計
家族と共用で所持	7.6%	2.9%		3.1%	4.7%		3.9%	3.9%	1.8%	3.8%
自分用に所持	14.3%	25.0%	12.5%	85.8%	24.4%	14.3%	23.5%	13.7%	68.4%	43.8%
3ヶ月以内に購入を検討	1.9%	1.5%		3.5%	3.1%					2.0%
持っていない	76.2%	70.6%	87.5%	7.5%	67.7%	85.7%	72.5%	82.4%	29.8%	50.4%
総計	105	68	16	226	127	35	51	51	57	736

デスクトップPC	1年生	上級生	総計
家族と共用で所持	10.1%	9.1%	9.5%
自分用に所持	32.2%	24.9%	27.7%
3ヶ月以内に購入を検討	1.0%	0.4%	0.7%
持っていない	56.6%	65.6%	62.1%

- 自分用のデスクトップPCを利用している学生の比率は少なくない
- 全学 27.7%
- 教育学部 38.1% 看護学科 45.1% と高い傾向にある

デスクトップPC 学部別	教育学部	地域科学部	システム工学部	工学部	応用生物科学部	共同獣医学部	看護学科	医学科	大学院	総計
家族と共用で所持	11.4%	11.8%	18.8%	8.0%	10.2%	5.7%	15.7%	5.9%	5.3%	9.5%
自分用に所持	38.1%	23.5%	25.0%	25.7%	23.6%	20.0%	45.1%	25.5%	22.8%	27.7%
3ヶ月以内に購入を検討		1.5%		0.9%	1.6%					0.7%
持っていない	50.5%	63.2%	56.3%	65.5%	64.6%	74.3%	39.2%	68.6%	71.9%	62.1%
総計	105	68	16	226	127	35	51	51	57	100.0%

3) 「授業」と「授業の受け方」 (1/4)

授業実態の把握 (デジタルデータ配布)

	2026		2026		2025	
	全国		岐阜大学		岐阜大学	
対面授業の実態	デジタルデータ配布	オンライン授業	デジタルデータ配布	オンライン授業	デジタルデータ配布	オンライン授業
01_必ずある	24.1%	4.7%	17.5%	2.6%	10.7%	1.8%
02_頻繁にある	53.6%	9.3%	55.7%	5.0%	51.2%	3.1%
03_ときどきある	16.6%	36.4%	20.7%	35.3%	30.5%	23.2%
04_ほとんどない	3.3%	31.0%	4.5%	37.2%	4.4%	35.6%
05_まったくない	2.3%	18.6%	1.6%	19.8%	3.1%	36.3%

デジタルデータ配布	1年生	上級生	総計
必ずある	9.8%	22.4%	17.5%
頻繁にある	54.9%	56.2%	55.7%
ときどきある	26.6%	16.9%	20.7%
ほとんどない	7.0%	2.9%	4.5%
まったくない	1.7%	1.6%	1.6%

デジタルデータ配布	学部別	教育学部	地域科学部	社会システム部	工学部	応用生物部	共同獣医学部	看護学科	医学科	大学院	総計	
必ずある		3.8%	8.8%	18.8%	20.4%	12.6%	25.7%	17.6%	31.4%	35.1%	17.5%	
頻繁にある		41.9%	45.6%	62.5%	59.3%	70.1%	60.0%	41.2%	52.9%	57.9%	55.7%	
ときどきある		42.9%	33.8%	18.8%	15.9%	11.0%	14.3%	29.4%	13.7%	7.0%	20.7%	
ほとんどない		10.5%	8.8%		3.5%	3.1%		5.9%	2.0%		4.5%	
まったくない		1.0%	2.9%		0.9%	3.1%		5.9%			1.6%	
デジタルデータ配布	学部別	1年生	教育学部	地域科学部	社会システム部	工学部	応用生物部	共同獣医学部	看護学科	医学科	大学院	総計
必ずある		7.3%	4.2%		13.5%	8.6%	9.1%	11.5%	9.5%			9.8%
頻繁にある		19.5%	33.3%	75.0%	57.3%	71.4%	81.8%	50.0%	71.4%			54.9%
ときどきある		56.1%	45.8%	25.0%	20.2%	12.9%	9.1%	38.5%	14.3%			26.6%
ほとんどない		14.6%	12.5%		7.9%	4.3%			4.8%			7.0%
まったくない		2.4%	4.2%		1.1%	2.9%						1.7%
デジタルデータ配布	学部別	上級生	教育学部	地域科学部	社会システム部	工学部	応用生物部	共同獣医学部	看護学科	医学科	大学院	総計
必ずある		1.6%	11.4%	25.0%	24.8%	17.5%	33.3%	24.0%	46.7%	35.1%		22.4%
頻繁にある		56.3%	52.3%	58.3%	60.6%	68.4%	50.0%	32.0%	40.0%	57.9%		56.2%
ときどきある		34.4%	27.3%	16.7%	13.1%	8.8%	16.7%	20.0%	13.3%	7.0%		16.9%
ほとんどない		7.8%	6.8%		0.7%	1.8%		12.0%				2.9%
まったくない			2.3%		0.7%	3.5%		12.0%				1.6%

■ 授業でのデジタルデータの配布状況は、全学で必ずある 17.5% 頻繁にある 55.7% とトータル 73.2%。ときどきある 20.7% とほとんどの授業でデジタルデータが配布されている。

■ 学年別、学部別の分析からは、上級生になるほど配布率が上がる傾向に。学部別でみると教育学部、地域科学部（ともに1年生が低い）看護学科：上級生が低い傾向にある。実習期間が長くなることが背景にあるのかも。

3) 「授業」と「授業の受け方」 (2/4) ノートティッキング実態

デジタルノートテイク	1年生	上級生	総計
現在デジタルノートティッキングをおこなっている	47.2%	34.0%	39.1%
以前デジタルノートティッキングはおこなっていたが、現在はおこなっていない。	8.7%	16.2%	13.3%
デジタルノートティッキングを利用したことはない	44.1%	49.8%	47.6%

デジタルノートティッキング	全国	岐阜大学
01_現在デジタルノートティッキングをおこなっている	40.5%	39.1%
02_以前デジタルノートティッキングはおこなっていたが、現在はおこなっていない。	16.1%	13.3%
03_デジタルノートティッキングを利用したことはない	43.4%	47.6%

ノート利用(複数)	1年生	上級生	総計
紙のノートを使用することになっているから	47.9%	57.8%	53.9%
周りが紙のノートを使用しているから	3.5%	4.2%	3.9%
資料がデータで渡されるから	30.8%	35.1%	33.4%
過去の講義資料などの管理がおこないやすいから	27.3%	25.3%	26.1%
板書やスライドを撮影して記録したいから	5.9%	6.0%	6.0%
周りがパソコンやタブレットを使用しているから	7.3%	3.6%	5.0%
先生がパソコンやタブレットの利用を推奨しているから	2.8%	2.0%	2.3%
授業にパソコンやタブレットの持ち込みが禁止されているから	1.7%	2.2%	2.0%
その他 タブレット	3.1%	1.3%	2.0%
その他 紙	2.1%	3.8%	3.1%
そのた 未使用	3.5%	2.7%	3.0%

	2025
どの運営スタイルでも紙のノート	60.9%
対面授業は紙のノートでオンライン授業はパソコンやタブレット	11.7%
対面授業はパソコンやタブレットでノートを取りオンライン授業は紙のノート	3.6%
どの運営スタイルでもパソコンやタブレットでノートを取る	16.7%

- デジタルノートティッキングは、全学平均値でも39.1%まで。
1年生だけをみると47.2%まで増えている。
- デジタルノートティッキングを行う主な理由は3つ。
資料がデータで渡されるから 33.4%
過去の講義資料などの管理 26.1%
板書やスライドを撮影して記録 6.0%
- 学部別でみると、医療系の学部での利用率が高い傾向にある。

デジタルノートテイク 学部別	教育学部	地域科学・社会システム工学部	応用生物・共同獣医学・看護学科	医学科	大学院	総計				
現在デジタルノートテイキングをおこなっている	20.0%	22.1%	56.3%	38.1%	33.9%	57.1%	58.8%	82.4%	38.6%	39.1%
以前デジタルノートテイキングはおこなっていたが、 現在はおこなっていない。	19.0%	11.8%	6.3%	12.8%	13.4%	8.6%	9.8%	5.9%	21.1%	13.3%
デジタルノートテイキングを利用したことはない	61.0%	66.2%	37.5%	49.1%	52.8%	34.3%	31.4%	11.8%	40.4%	47.6%

3) 「授業」と「授業の受け方」 (3/4) 授業実態の把握 (オンデマンド型授業実態)

オンライン授業	全国	岐阜大学
01_必ずある	4.5%	3.5%
03_頻繁にある	8.7%	7.8%
05_ときどきある	32.6%	38.9%
07_ほとんどない	32.8%	31.2%
09_まったくない	21.5%	18.7%

オンライン授業	1年生	上級生	総計
必ずある	1.0%	3.6%	2.6%
頻繁にある	2.8%	6.4%	5.0%
ときどきある	21.0%	44.4%	35.3%
ほとんどない	46.5%	31.3%	37.2%
まったくない	28.7%	14.2%	19.8%

オンライン授業	教育学部	地域科学部	社会システム工学部	応用生物科学部	共同獣医学部	看護学科	医学科	大学院	総計	
必ずある		1.5%	6.3%	2.7%	1.6%	2.9%			14.0%	2.6%
頻繁にある	2.9%	7.4%	6.3%	5.3%	0.8%	2.9%		7.8%	17.5%	5.0%
ときどきある	22.9%	33.8%	56.3%	39.4%	30.7%	28.6%	21.6%	49.0%	52.6%	35.3%
ほとんどない	51.4%	35.3%	31.3%	32.3%	46.5%	48.6%	35.3%	31.4%	14.0%	37.2%
まったくない	22.9%	22.1%		20.4%	20.5%	17.1%	43.1%	11.8%	1.8%	19.8%
総計	105	68	16	226	127	35	51	51	57	736

オンデマンド授業受講	1年生	上級生	総計
PC	81.1%	81.8%	81.5%
タブレット	14.3%	12.7%	13.3%
スマートフォン	3.5%	5.6%	4.8%
バラバラ	0.3%	0.0%	0.1%
モニター	0.3%	0.0%	0.1%
印字	0.3%	0.0%	0.1%

- コロナ渦に利用が多かったオンデマンド授業だが、6割以上が「経験しなくなっている」。
- 学部別でみると、下記の学部の経験率が高い傾向にある。
- 社会システム経営学環、医学科、

3) 「授業」と「授業の受け方」(4/4) 教科書の利用状況

	全国		岐阜大学	
教科書メディアの現在	2025年	2026年	2025年	2026年
01_ほとんど紙の教科書だけを使っている	46.0%	41.1%	53.8%	50.5%
02_どちらかと言えば紙の教科書を使って	22.2%	23.2%	23.4%	23.9%
03_紙と電子の教科書の割合は半々	15.7%	17.8%	12.8%	15.1%
04_どちらかと言えば電子教科書を使う比率が高い	10.2%	11.7%	7.2%	6.3%
05_ほとんど電子教科書だけを使っている	5.9%	6.1%	2.8%	4.2%

教科書利用状況	1年生	上級生	総計
ほとんど紙の教科書だけを使っている	49.3%	51.3%	50.5%
どちらかと言えば紙の教科書を使って	26.9%	22.0%	23.9%
紙と電子の教科書の割合は半々	16.1%	14.4%	15.1%
どちらかと言えば電子教科書を使う比率が高い	4.9%	7.1%	6.3%
ほとんど電子教科書だけを使っている	2.8%	5.1%	4.2%

- **授業でのデジタルデータの配布状況**は、全学で必ずある 17.5%
頻繁にある 55.7%
とトータル 73.2%。
ときどきある 20.7%
ほとんどの授業でデジタルデータが配布されている。
- その一方、教科書の利用状況は、7割が紙ベース。
ほとんど紙の教科書 50.5%
どちらかといえば紙 23.9%
- 学部別では、
看護学科、共同獣医学科が、紙の教科書利用率が高く
医学科で、低い傾向がある、
(電子教科書だけの利用が高い傾向にある)

教科書利用状況 学部別	教育学部	地域科学部	社会システム学部	工学部	応用生物科	共同獣医学科	看護学科	医学科	大学院	総計
ほとんど紙の教科書だけを使っている	50.5%	47.1%	43.8%	55.8%	50.4%	80.0%	60.8%	15.7%	40.4%	50.5%
どちらかと言えば紙の教科書を使って	28.6%	27.9%	18.8%	22.6%	25.2%	11.4%	25.5%	23.5%	21.1%	23.9%
紙と電子の教科書の割合は半々	16.2%	16.2%	18.8%	14.6%	15.7%	5.7%	9.8%	23.5%	14.0%	15.1%
どちらかと言えば電子教科書を使う比率が高い	4.8%	4.4%	18.8%	4.4%	7.1%	2.9%	3.9%	9.8%	14.0%	6.3%
ほとんど電子教科書だけを使っている		4.4%		2.7%	1.6%			27.5%	10.5%	4.2%

3) 「授業」と「授業の受け方」 (4/4)

	全国		岐阜大学	
教科書メディアの現在	2025年	2026年	2025年	2026年
01_ほとんど紙の教科書だけを使っている	46.0%	41.1%	53.8%	50.5%
02_どちらかと言えば紙の教科書を使って	22.2%	23.2%	23.4%	23.9%
03_紙と電子の教科書の割合は半々	15.7%	17.8%	12.8%	15.1%
04_どちらかと言えば電子教科書を使う比率が高い	10.2%	11.7%	7.2%	6.3%
05_ほとんど電子教科書だけを使っている	5.9%	6.1%	2.8%	4.2%

	全国		岐阜大学	
教科書メディアについての希望	2025年	2026年	2025年	2026年
01_ほとんど紙の教科書だけを使っている	26.7%	25.6%	31.3%	29.8%
02_どちらかと言えば紙の教科書を使って	21.0%	22.3%	20.3%	23.2%
03_紙と電子の教科書の割合は半々	24.9%	26.2%	28.2%	26.4%
04_どちらかと言えば電子教科書を使う比率が高い	13.2%	13.2%	10.0%	10.3%
05_ほとんど電子教科書だけを使っている	14.1%	12.7%	10.2%	10.3%

教科書利用希望	1年生	上級生	総計
ほとんど紙の教科書だけを使っている	32.2%	28.2%	29.8%
どちらかと言えば紙の教科書を使って	23.4%	23.1%	23.2%
紙と電子の教科書の割合は半々	26.9%	26.0%	26.4%
どちらかと言えば電子教科書を使う比率が高い	9.4%	10.9%	10.3%
ほとんど電子教科書だけを使っている	8.0%	11.8%	10.3%

教科書利用希望 学部別	教育学部	地域科学部	社会システム部	工学部	応用生物部	共同獣医学部	看護学科	医学科	大学院	総計
ほとんど紙の教科書だけを使っている	23.8%	16.2%	12.5%	38.1%	33.9%	54.3%	19.6%	13.7%	28.1%	29.8%
どちらかと言えば紙の教科書を使って	26.7%	30.9%	18.8%	22.6%	24.4%	25.7%	23.5%	9.8%	19.3%	23.2%
紙と電子の教科書の割合は半々	32.4%	33.8%	37.5%	23.5%	26.0%	14.3%	29.4%	27.5%	19.3%	26.4%
どちらかと言えば電子教科書を使う比率が高い	12.4%	8.8%	6.3%	7.5%	11.0%	5.7%	13.7%	13.7%	15.8%	10.3%
ほとんど電子教科書だけを使っている	4.8%	10.3%	25.0%	8.4%	4.7%		13.7%	35.3%	17.5%	10.3%

教科書利用の今後への期待

- 教科書に関する学生の要望は、左表のとおり
※ アンケートの回答項目設定が、「教科書の利用状況」と同じのため項目だけをみるとわかりづらい点をおわびします。
- 現状の紙教科書利用率に対して、電子教科書への期待が高い傾向にはある。

	現状	希望
ほとんど紙の教科書	50.5%	29.8%
どちらかといえば紙	23.9%	23.2%
半々	15.1%	26.4%
どちらかといえば電子	6.3%	10.3%
ほとんど電子教科書	4.2%	10.3%
- 学部別でみると、下記の学部が電子教科書への希望が高い傾向
社会システム経営学環
看護学科
医学科
- 教科書に関する「教科書自由記入」の回答は、「膨大な量の授業資料の取り扱いに関する希望」がめだっている。授業で配布されているデジタルデータを「教科書として認識」。学修に活用している実態がある。

4) 研究に関わるコンテンツ利用、生成 AI 利用状況 前提

2026年度の実態調査では、下記の9つの生成 AI について設問を設けている。調査結果の分析にあたって、下記を確認しておく。

■ 生成 AI の原理と特徴

生成 AI で主流である LLM は、1) 事前学習、2) ファインチューニング、3) ヒューマンフィードバック という段階を経て、適切な専門用語を知らなく、曖昧な質問をしても、適切に調整された回答を返してくれるシステム。

■ 生成 AI のリスクとリテラシー

上記の3つのステップにより、「誤情報・虚偽情報の入り込み」、「確率的にもっともらしい回答を作成する」、「バイアスがかかりやすい」、「著作権が配慮されない」、「セキュリティとプライバシーは守られない」、「人当たりのよい表現により生成 AI の擬人化・依存へ誘導しやすい」、「多く使うには資源消費により費用がかかる」などのリスクを内包している。道具として使うには生成 AI のリスクに対応できるリテラシーが必要。

■ 岐阜大学での生成 AI ガイドライン

2023年7月3日「岐阜大学における生成AI（generative AI）の教学上の利用に関する基本方針」発表後、変更はされていない。「今後の人生を生き抜く上で、必要な思考力と表現力を涵養することが重要であり、学生が正しく活用できるように適切な措置を講じる必要」「教員自らが生成AI の挙動や長所、短所、特性を知った上で工夫や対策を講じる必要」があります。とされて、個々の教員、学生の努力にまかされている状態ともいえる。学生に、生成 AI の使い方を実習形式で学んでいる様子は調査結果に出ていない。

■ 生成 AI のトレンド

2022年11月の Chat GPT 登場以来、生成 AI は、テキスト生成、画像生成、動画生成、音楽・音声生成などに対応ジャンルを広げ、ローカル AI、ハイブリット AI という形でも、急速に「岐大生」の日常生活にはいりこんでいる。ネットの情報は、「検索」から「生成 AI による適切な回答を読まされる」状況に大きく変わってきている。この状況を「with AI」と表現したい。

							26/9月ユーザー数
Chat GPT	チャットGPT	アメリカのOpenAI社が開発した対話型AI(人工知能)サービス					11億人
Copilot	コパイロット	Microsoft社が提供するAIアシスタントツール、CopilotはMicrosoft 365と深く統合					1億人
Gemini	ジェミニ	Googleが開発・提供するマルチモーダル対応の生成AIサービス、Android OS との統合がすすむ					10億人
NotebookML	ノートブックLM	Googleが開発したAIリサーチ・思考パートナーツールです。手元のPDF、Webページ、YouTube動画などの資料を読み込ませることで、その資料「だけ」を根拠にAIが要約や質問への回答を行うサービス					未公開
Claude	クロード	Anthropic社が開発した対話型の生成AIサービス					2.4億人
Perplexity	パープレキシティAI	Web上の情報をもとに回答文と出典リンクをまとめて表示し、調べものの全体像をつかみやすいAI検索サービス					7.8億人
Manus	マナス	調査、資料作成、Web制作、デザインなどを目的に合わせて進められるAIエージェント型サービス					1000万人
Grok	グロック	xAIが開発した生成AIで、X(旧Twitter)のリアルタイム情報を参照できる点が特徴					1480万人
Genspark	ジェンズパーク	検索から資料作成までを自動化するエージェント型AI					

4）研究に関わるコンテンツ利用、生成 AI 利用状況（1/3）

誰が どの生成AIを

CHATGPT	全国	岐阜大学	1年生	上級生
有料サービス	2.7%	4.9%	1.4%	7.1%
無料サービス(以前は有料サービスを利用)	2.6%	2.9%	2.8%	2.9%
無料サービス	84.1%	85.6%	87.4%	84.4%
大学・研究所などから提供されている	1.2%	1.0%	0.3%	1.3%
使ったことがない	9.4%	5.7%	8.0%	4.2%

Gemini	全国	岐阜大学	1年生	上級生
有料サービス	4.0%	6.7%	0.7%	10.4%
無料サービス(以前は有料サービスを利用)	1.4%	1.8%	2.1%	1.6%
無料サービス	58.5%	57.9%	61.5%	55.6%
大学・研究所などから提供されている	3.1%	0.7%	0.0%	1.1%
使ったことがない	33.0%	33.0%	35.7%	31.3%

Copilot	全国	岐阜大学	1年生	上級生
有料サービス	1.0%	1.0%	1.0%	0.9%
無料サービス(以前は有料サービスを利用)	0.7%	0.8%	0.3%	1.1%
無料サービス	37.4%	47.0%	45.8%	47.8%
大学・研究所などから提供されている	6.0%	10.2%	16.1%	6.4%
使ったことがない	54.9%	41.0%	36.7%	43.8%

NotebookML	全国	岐阜大学	1年生	上級生
有料サービス	1.1%	1.8%	0.0%	2.9%
無料サービス(以前は有料サービスを利用)	0.5%	0.4%	0.0%	0.7%
無料サービス	10.3%	7.9%	6.6%	8.7%
大学・研究所などから提供されている	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
使ったことがない	87.2%	89.9%	93.4%	87.8%

Claude	全国	岐阜大学	1年生	上級生
有料サービス	0.9%	0.4%	0.0%	0.7%
無料サービス(以前は有料サービスを利用)	0.5%	0.4%	0.3%	0.4%
無料サービス	11.6%	11.7%	7.0%	14.7%
大学・研究所などから提供されている	0.4%	0.3%	0.0%	0.4%
使ったことがない	86.7%	87.2%	92.7%	83.8%

Perplexity	全国	岐阜大学	1年生	上級生
有料サービス	0.3%	0.3%	0.0%	0.4%
無料サービス(以前は有料サービスを利用)	0.5%	0.4%	0.0%	0.7%
無料サービス	6.7%	7.7%	5.6%	9.1%
大学・研究所などから提供されている	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
使ったことがない	92.5%	91.6%	94.4%	89.8%

Manus	全国	岐阜大学	1年生	上級生
有料サービス	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
無料サービス(以前は有料サービスを利用)	0.3%	0.5%	0.3%	0.7%
無料サービス	4.3%	3.4%	3.1%	3.6%
大学・研究所などから提供されている	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
使ったことがない	95.0%	96.1%	96.5%	95.8%

Grok	全国	岐阜大学	1年生	上級生
有料サービス	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
無料サービス(以前は有料サービスを利用)	0.4%	0.7%	0.3%	0.9%
無料サービス	18.0%	16.0%	15.7%	16.2%
大学・研究所などから提供されている	0.1%	0.1%	0.3%	0.0%
使ったことがない	81.3%	83.2%	83.6%	82.9%

Genspark	全国	岐阜大学	1年生	上級生
有料サービス	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
無料サービス(以前は有料サービスを利用)	0.3%	0.8%	0.3%	1.1%
無料サービス	5.1%	3.9%	3.5%	4.2%
大学・研究所などから提供されている	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
使ったことがない	94.3%	95.2%	96.2%	94.7%

4) 研究に関わるコンテンツ利用、生成 AI 利用状況 (1/3) 誰が どの生成AIを

2026年度の実態調査では、9つの生成 AI について設問を設けた。

- 生成 AI の利用は別紙のとおり、学年にかかわらず「with AI」(誰もが身近に AI に触れる)という状況にある。(詳細は別紙参照)
CHATGPT 未利用者 5.7% Gemini 未利用者 33.0% Copilot 未利用者 41.0%
- 利用状況は「無料サービス」が中心で、利用している生成 AI もよく知られた製品がメインとなっている。
ローカル AI (LLM)、AI エージェント、画像処理 AI、学術専門分野に特化した生成 AI などの利用は回答数が少ない。
設問された9つの生成 AI 以外の利用サービスの回答では、AI エージェント、LLM など多様な利用傾向もみられる。
- 有料版 生成 AI の利用は上級生、医学科において利用が増える傾向にある。今回は利用頻度の調査は行っていないが、
無料版、有料版の差が意識されず、生成 AI から得られるベネフィット(利益)と費用効果の知識や実感がない状況がうかがわれる。
- 岐阜大学のMS包括ライセンスで、有料版 Copilot Chat (LLMアクセスのみ) が無料で利用できる点はあまり周知されていない。
「大学から提供されている」という認識は、全学で 10.2%ほどである。
- 身につけたいスキルとして生成 AI とする回答は全学で 31%。1 年生/26.2%、上級生/34.0% と上級生が高い傾向。

	他の生成AI	
AIエージェント	Codex(個人使用、無料)、OpenAIが提供する、プログラミングやソフトウェア開発を支援する自律型のAIエージェント(ツ	5
AIエージェント	Curosr 最先端の生成AI機能を標準搭載した次世代のAIコードエディタ(プログラムを書くためのソフトウェア)	1
AIエージェント	OpenClaw(個人使用、無料)、SlackやLINEなどのチャットアプリから指示を送るだけで、自分のパソコンやサーバー上で	1
AIエージェント	Ollama(個人使用、無料) 自分のパソコン上でAI(大規模言語モデル)を簡単に動かすためのオープンソースツール	1
AIエージェント	Gemini CLI(個人使用、無料)、コマンドライン インターフェース(CLI)は、ターミナルで Gemini に直接アクセスできるオー	1
LLM	llama(ローカルLLM) Metaが開発したオープンモデルの大規模言語モデル(LLM)のシリーズ	1
LLM	Ollama(提供サービスではなくローカルで動かすもの、無料) 自分のパソコン上でAI(大規模言語モデル)を簡単に動かす	1
LLM	Antigravity(geminiの有料プラン)	1
開発環境	GoogleAIstudio Googleが提供する無料のWebベースのプロトタイピングおよび開発環境	1
	Qwen、Alibaba Cloudが開発した大規模言語モデルのファミリー、およびそれを使用したチャットボット	2
PDF 加工	Adobe 無料 Adobe FireFly	1
画像生成	stablediffusion(無料) 入力した文章(プロンプト)をもとに、高精細なオリジナルの画像を自動で作り出すAIモデル	1
翻訳	Nani.now 無料ですぐに使えるAI翻訳サービス	1
翻訳	PLaMO翻訳(有料) 高精度なAI翻訳サービス	1
交流	zeta キャラクターとの対話を通じて、自分だけの物語を楽しめるAIフィクションプラットフォーム	2

4) 研究に関わるコンテンツ利用、生成 AI 利用状況 (1/3) 誰が どの生成AIを

- 岐阜大学のMS包括ライセンスでは、有料版 Copilot Chat (LLMアクセスのみ) が無料で利用できる点はあまり周知されていない。大学から提供されているという認識は、10.2%ほどである。プロンプト作成スキル向上、LLMのベネフィット (利益) の理解、回答の検証方法の習得など、生成AIリテラシーの向上を図れる「制約の少ない 有料版 Copilot Chat という環境」の認識を広める必要がある。
- ※ なお 岐阜大学の包括ライセンス契約では、Microsoft 365 Copilotアプリ (Copilot in Excel など) は利用できない。
- 有料版 生成 AI の利用は上級生、医学科において利用が増える傾向にある。

Chat GPT 学部別	教育学部	地域科学部	社会システム工学部	応用生物科	共同獣医学部	看護学科	医学科	大学院	総計
有料サービス	1.9%	1.5%	6.3%	4.9%	2.4%	5.7%	9.8%	19.3%	4.9%
無料サービス (以前は有料サービスを利用)	3.8%	2.9%		2.2%	4.7%			7.0%	2.9%
無料サービス	85.7%	91.2%	93.8%	85.4%	85.0%	88.6%	92.2%	68.4%	85.6%
大学・研究所などから提供されている	1.0%	1.5%		1.3%	0.8%			1.8%	1.0%
使ったことがない	7.6%	2.9%		6.2%	7.1%	5.7%	7.8%	3.5%	5.7%

Copilot 学部別	教育学部	地域科学部	社会システム工学部	応用生物科	共同獣医学部	看護学科	医学科	大学院	総計
有料サービス	2.9%	1.5%		0.9%	0.8%				1.0%
無料サービス (以前は有料サービスを利用)	1.9%			0.4%	0.8%	2.9%		1.8%	0.8%
無料サービス	50.5%	45.6%	56.3%	54.4%	43.3%	37.1%	37.3%	38.6%	47.0%
大学・研究所などから提供されている	8.6%	4.4%	18.8%	13.3%	9.4%	11.4%	5.9%	9.8%	10.2%
使ったことがない	36.2%	48.5%	25.0%	31.0%	45.7%	48.6%	56.9%	49.1%	41.0%

Gemini 学部別	教育学部	地域科学部	社会システム工学部	応用生物科	共同獣医学部	看護学科	医学科	大学院	総計
有料サービス	2.9%	4.4%	12.5%	7.5%	3.9%	5.7%	2.0%	11.8%	6.7%
無料サービス (以前は有料サービスを利用)	2.9%	1.5%		0.9%	3.1%		2.0%	3.5%	1.8%
無料サービス	55.2%	63.2%	50.0%	62.4%	59.8%	51.4%	52.9%	40.4%	57.9%
大学・研究所などから提供されている				1.3%				3.5%	0.7%
使ったことがない	39.0%	30.9%	37.5%	27.9%	33.1%	42.9%	45.1%	35.1%	33.0%

4) 研究に関わるコンテンツ利用、生成 AI 利用状況 (2/3) 目的 どのように

■ 学生生活における利用場面を、下記のように区分してみると、生成 AI 利用の自由回答は下記グリーンのセルのような傾向にある。

レポート作成・学習	論文作成・研究	語学学習・翻訳	個人利用（個人相談）	就職活動	使わない
62.0%	13.5%	8.0%	30.3%	2.9%	2.4%

■ 「レポート作成」と「論文作成」だけをとりあげても、作成の目的、手順は異なり、取り組むことでスキルアップするには、それぞれの手順をまずは理解しておく必要がある。それを踏まえて、「レポート作成」や「論文作成」において「自分自身の知識：思考や作文の強化につながる補助的な生成 AI の活用方法」を体得することが、社会にでてからも生成 AI を活用できるスキルのベースとなる。

そのような「生成 AI に丸ごと課題を投げない」「生成 AI の回答をそのまま複製してはいけない」使い方のヒントは、別紙の生成 AI 利用 自由回答内容をヒントに、活用している学生に個別にヒヤリングしてゆく中で、あぶり出し、広めてゆく必要がある。

生成AI 利用方法 自由回答 区分	1年生	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	大学院修二	大学院博二	上級生	上級生	総計	
研究検索	1.0%	3.5%	1.4%	3.3%	9.4%	7.1%	11.1%	36.5%		8.2%	19.8%	5.4%	13.5%
プログラミング	0.7%		1.4%	4.1%	6.6%	7.1%		9.6%		4.4%		3.0%	
論文要約	1.4%		2.1%	2.4%	1.9%			5.8%		2.4%		2.0%	
論文検索	0.3%		1.4%	3.3%	4.7%	7.1%	22.2%	9.6%	40.0%	4.7%		3.0%	
文章校正・添削	19.9%	60.5%	13.5%	16.3%	15.1%	7.1%		11.5%	120.0%	15.1%	62.9%	17.0%	62.0%
レポート作成	8.4%		6.4%	10.6%	3.8%	7.1%		1.9%		6.2%		7.1%	
学習検索	32.2%		44.0%	47.2%	37.7%	57.1%	11.1%	32.7%	20.0%	41.6%		37.9%	
アイデア出し	4.9%	26.9%	5.0%	9.8%	9.4%					6.0%	24.9%	5.6%	25.7%
メール	1.4%		3.5%	6.5%	0.9%	21.4%	11.1%	1.9%	20.0%	5.3%		3.8%	
検索	18.2%		12.8%	6.5%	1.9%	7.1%	11.1%	15.4%		11.8%		14.3%	
画像処理	2.4%		2.1%	2.4%		7.1%		1.9%		1.8%		2.0%	
語学学習	2.1%	8.0%	1.4%	1.6%	0.9%	7.1%	22.2%			1.8%	8.0%	1.9%	8.0%
翻訳	5.2%		3.5%	6.5%	9.4%		11.1%	1.9%		5.6%		5.4%	
英会話	0.7%				1.9%			1.9%		0.7%		0.7%	
就職活動	1.4%			1.6%	6.6%		22.2%	11.5%		3.8%		2.9%	
個人検索	13.3%	27.3%	8.5%	17.9%	17.9%	14.3%	11.1%	15.4%		14.2%	32.2%	13.9%	30.3%
個人相談	14.0%		20.6%	18.7%	20.8%	21.4%		5.8%	20.0%	18.0%		16.4%	
活用法	3.1%		0.7%	0.8%	1.9%			1.9%		1.1%		1.9%	
使わない	3.8%		2.8%		1.9%	7.1%				1.6%		2.4%	

< 主な 生成AI 利用 自由記入回答 >

学部・学科	学年	生成AI利用方法自由記入	生成AI利用不安
医学部医学科	1年生	レポートや問題などで自身の考えがっているかを調べたり、深掘りしたりするためや、下宿先での掃除の方法や料理、栄養分の相談に利用している。	6
医学部医学科	1年生	授業ノートの要約・重要事項まとめ・クイズ作成、各種疑問点の解消対応、やること管理の手助け、趣味の一環	5
応用生物科学部共同獣医学科	1年生	思い出せない言葉や事柄がある時、友人関係でもややもした時	5
応用生物科学部食農生命科学科	1年生	受験の時の相談相手や新しい環境での小さな悩みの相談	4
応用生物科学部食農生命科学科	1年生	発表スライドの構成について相談、メールの添削、レポートの添削など	4
応用生物科学部生物圏環境学科	1年生	英語の課題にて、文章の精査判別をAIで行うよう指示が出ているため、課題を完了するために使用している。	5
教育学部	1年生	2つのAIを同時に活用して、インターネットでも検索しています。学校で渡されるスライドをAIに詳しく解説してもらっています。	8
教育学部	1年生	文章のテンプレートや例文の作成に使用しています。答えを直接聞くことは、間違えることが多々あるため、極力避けています。	3
工学部 機械工学科 機械コース	1年生	レポートの誤字脱字修正、レポートのドラフト作成、数学でわからない問題の質問	6
工学部機械工学科	1年生	アイデアをもらう 数学などの解法を教えてください	5
工学部電気電子・情報工学科	1年生	■ gemini 1.検索エンジンとして。(最初の足がかりとしてだったり、概要を知りたいときに使います。事実確認が必要な場合は自分で調べます。) 2.レポートの推敲。(最初は自分で書き、よりよい表現や、違う視点があるか調べるため。) 3.その他Googleサービスとの連携(Googleカレンダーとかに追加するときに地味に便利なん) ■ NotebookLM - 指定した資料に基づいて、生成してくれるので、勉強の復習や自分の理解が正しいかの確認として使っています。 ■ Perplexity - 主にニュースを見るときに使います。	2
工学部電気電子・情報工学科情報	1年生	解法が不明な問題を一度解かせて、その方法が正しいかを確認する。	1
地域科学部	1年生	生活の中での相談 学習計画を立てる 分からない問題を解説してもらう 自分で上手く言葉に出来ないことの言語化	3
地域科学部	1年生	日常生活で不便を感じたことについて、google検索でもわかるようなことだが、よりコンパクトにわかりやすく知りたいときに質問を投げかけている。スケジューリングや生活にまつわるアドバイスを提供してもらうこともある。学習面では、文章要約や添削、各種問題の採点などをしてもらっている。ひとつのAIだけでは不安があるものは2つ以上を活用して総合的な判断を行う。	3
応用生物科学部生物圏環境学科	2年生	ほとんど使わない。 英語の授業で指示されて使ったことがあるのみ。	10
応用生物科学部生物圏環境学科	2年生	気になったことを質問する。調べても、自分の得たい情報が上手く得られない時に使う。	6
工学部	2年生	新しく触れた理論等の解説	8
工学部知能機械コース	2年生	調べ物をするときに使う。 問題を作ってもらって解いて答え合わせをする。	4
教育 国語	3年生	アイデアが思い浮かばなかった際に参考にする程度。 AIが考えたものを課題として提出したことはない。	5
教育学部社会科教育講座	3年生	私は作曲することが趣味で、歌詞を評価してもらいます。講義で分からない単語や思いつかない案を聞くことはあります。ただし、必ず参考までにし、丸々そのまま使用した事はありません。	9
工学部 化学生命学科	3年生	文章の誤字脱字の確認 化学で分からないことを解決する手がかり 自分の考えを言語化する	1
工学部化学生命工学科	3年生	哲学思考の整理 理論の深掘り 進路相談	3
工学部機械工学科	3年生	日常生活の不安や自己分析に利用。欲しい資料を探すのにも利用	3
工学部社会基盤工学科	3年生	調査研究目的 例えば、ソフトの使い方とかどんなソフトを使うと楽かなど	4
工学部電気電子情報工学科	3年生	解き方の案を出してこれでいけるかを聞いたり、情報収集に使ったり、問題の解決策について意見をもらったり、相談に乗ってもらったりしている。	3
地域科学部	3年生	化粧品など種類がたくさんあり、新しいものを買いたいときの相談相手として使っています。おすすめのドラマを教えてください。また、レポートを書く際に、誤字脱字や表現の拙い部分をピックアップしてもらい、書き換えは自分で行なっています。また、文献を探してもらっています。	8
電気電子・情報工学科情報コース	3年生	ほとんどのものは高性能であり、誤字脱字のチェックから誤字脱字のチェックまで幅広い分野で使うことができいてとても満足している。	4
医学部看護学科	4年生	正確か分からないので、「根拠を元に」と付け足している。全部信じない	8
応用生物科学部 生産環境科学	4年生	個人的な人間関係に関する相談、独り言の聞き役、レポートのアウトライン作成、R言語のコード作成	6
応用生物科学部共同獣医学科	4年生	誰にも言えない相談事 趣味の話	8
工学部 電気電子・情報工学科	4年生	死にたい、辛いつて思った時の相談相手としては何より良い。相談すると相手に気を遣わせてしまうが、AIなら何を言っても傷つかないからだ。結果として人だろうがAIだろうが立ち直れているのでベストな選択なのではなかろうか。	1
工学部・化学生命工学科	4年生	学習面では、レポートの校正や実験数値の演算処理に利用し、日常ではメール作成や表現の推敲、発想の整理に役立てている。	3
工学部化学生命工学科	4年生	文書の校正や翻訳 解析データの演算処理と評価 思考の整理	3
工学部機械工学科	4年生	研究では、論文検索、要約、プログラムコード生成、エラー対応、情報整理などに利用 学習も似たようなもの プライベートでは、購入における類似品の比較検討、文章の添削、旅行計画、ちょっとした相談などに利用 すべて参考程度で、根拠の確認を怠らなければとても便利。	4
応用生物科学部共同獣医学科	5年生	レポートで書きたいことを列挙して、それらをまとめる時にいくつか例を生成して参考にしています。 研究では論文検索で細かいニュアンスを表現したいときに活用しています。 あとは、メールを書くときにいくつかテンプレートを生成して参考にしています。	3
応用生物科学部・共同獣医学科	6年生	知りたい情報が記載されている論文を探す。 公務員試験の基礎分野で解説がっていない問題の解き方を聞く(間違っているのともあるけどヒントにはなる)。	4
自然科学技術研究科	学院修士課	ゼミなどの準備に、発表用資料の口頭説明について綺麗にまとめてもらったり、予想される質問など考えてもらう。	7
自然科学技術研究科	学院修士課	研究計画の整理やPythonスクリプトの作成	2
自然科学技術研究科	学院修士課	論文探し・就活のための自己分析・教育系アルバイトで使用する教材の解説	7
自然科学技術研究科、生命科学学院修士課	学院修士課	論文探し、論文要約、院試問題の穴埋め問題等解説補助、就活の悩み相談、ES作成	3
自然科学技術研究科生命科学	学院修士課	課題で分からない問題の考え方を聞いて、AIが出してきた用語について教科書で調べなおす。 就活のESの添削をしてもらう。 これらを複数のAIサービスを行き来して行っている。	4
知能理工学専攻	学院修士課	研究アイデアを気軽に話し合える相手。プログラミング用途。他、自身の気づきや発見に関連する研究が存在するか知りたくなったら検索用に利用	6
知能理工学専攻	学院修士課	研究資料や図表の作成、latexを含むプログラムコードの作成 気になったことを聞く	4
工学研究科	学院博士課	文章の添削及び誤字脱字の指摘 デザインアイデアの提案 関連論文の探索および要約	6

■ 参考資料 最新生成 AI の現在地 Copilot の種類 と 岐阜大学のMS包括ライセンス契約

- 岐阜大学では、2023年4月より東海国立大学機構契約の Microsoft365 Copilot アプリサービス（以下、Microsoft365機構版という）を 岐阜大学の構成員に対して提供しています。
- Microsoft 365 Copilot という名称からマイクロソフトから提供されている Copilot 機能がすべて利用できるように思われるが、岐阜大学 = 東海国立大学機構契約は、Copilot 契約のすべてを網羅していないため、下記の制約があります。

◆ Microsoft365機構版で利用できるアプリ

Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Teams、OneDrive、Forms、OneNote

◆ Microsoft365機構版で利用できるクラウドサービス

Microsoft365 Copilot ポータル

OneDrive for Business （50GBまで）

有料版 Copilot Chat（Microsoft 365 Copilot Chat もしくはCopilot Chat (Basic)）

LLMアクセスのみ、無料版とは違い、エンタープライズデータ保護（EDP）が適用され、入力データがAIの学習に使われない安全な仕様

対象データ: 基本はWeb情報、およびユーザーがその場でアップロードしたファイルやコピー＆ペーストした内容

WordやExcelなどのアプリ内で直接リボンから高度に連携動作する機能は制限される

※ 名称が似ているが異なる契約あり

マイクロソフトは、Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Teamsなどの各アプリに直接組み込まれ、アプリ内からシームレスに文書作成やデータ分析、会議の要約を行える「Microsoft 365 Copilot」という追加有料ライセンス（いわゆる Copilot in Excel などが利用できる）も提供している。

※ [Copilot 契約の確認方法：Copilot.microsoft.com](https://copilot.microsoft.com) サイトにサインインすると、Copilot Chat (Basic)、M365 Copilot (Basic)、または M365 Copilot (Premium) のラベルが、ログインネームの下に表示されます。

< 主なCopilotの種類 >

- Microsoft Copilot（無料版）
Webブラウザや専用アプリから、誰でも無料で使える基本のチャット・画像生成AI。入力データは AI 学習に使われる。
- Microsoft Copilot Pro（有料・個人向け）
混雑時も優先的に高速なAIモデルを利用できる個人向けの上位版。
- Microsoft 365 Copilot（有料・法人向け：契約にオプションあり）
Word、Excel、PowerPoint、Teams などのアプリと連携し、社内データや会議の議事録作成を横断してサポートする業務向けAI。
- GitHub Copilot（開発者向け）
プログラムのコード自動生成やリアルタイム補完に特化した開発支援AI。
- Copilot Studio（管理者・開発者向け）
自社専用のカスタムAIチャットボットやエージェントを簡単につくるための構築ツール。

4) 研究に関わるコンテンツ利用、生成 AI 利用状況 (3/3) 生成AIを起点にどのような行動

- 生成 AI の結果に関する「不安度」は、下記のように不安を持つ学生が 4割ほどとなっている。
上級生になると不安度が高くなる傾向にある。
AI 利用用途をみると、ゼロクリック状況、および AI への感情共有、AI 彼氏・彼女 状況も、常態化していると予想される。
- | | | | |
|------------|-------|-------|-------|
| | 全学年 | 1 年生 | 上級生 |
| 1- 5 不安小さい | 59.0% | 63.6% | 56.0% |
| 6-10 不安大きい | 41.0% | 36.4% | 44.0% |
- 今回の調査結果のデータから、LLM系の生成 AI を利用すると「AIを使うと自力が育たない」「達成感もないのに、結果が（見かけ上）出ている気持ち悪さが残る」という不安がうかがわれる。「AIに何をやらせて、成果物を受け取り、自分の成長につなげるか」そのノウハウを、大学 1 年生次から学び始め、4 年間で経験値を上げることが、社会にでてゆくことが問われている。

生成AI利用不安度	学年別	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	大学院修二	大学院博士課程	上級生	総計
1-3		28.0%	22.7%	22.8%	19.8%	21.4%	11.1%	40.4%	20.0%	23.8%	25.4%
	4-5	35.7%	34.0%	39.0%	23.6%	35.7%	44.4%	26.9%	20.0%	32.2%	33.6%
1-5		63.6%								56.0%	59.0%
6-7		26.2%	22.0%	22.8%	34.0%	21.4%	33.3%	23.1%	60.0%	25.8%	26.0%
8-10		10.1%	21.3%	15.4%	22.6%	21.4%	11.1%	9.6%	0.0%	18.2%	15.1%
6-10		36.4%								44.0%	41.0%

	低い									高い
生成AI不安度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全国	5.2%	4.7%	12.7%	12.8%	20.6%	14.8%	15.3%	8.7%	2.2%	3.1%
			22.6%		33.4%		30.1%			14.0%
岐阜大学	5.7%	6.1%	13.6%	14.8%	18.8%	14.0%	12.0%	10.7%	1.6%	2.7%
			25.4%		33.6%		26.0%			15.1%
1 年生	7.0%	7.0%	14.0%	17.5%	18.2%	15.4%	10.8%	7.3%	1.0%	1.7%
			28.0%		35.7%		26.2%			10.1%
上級生	4.9%	5.6%	13.3%	13.1%	19.1%	13.1%	12.7%	12.9%	2.0%	3.3%
			23.8%		32.2%		25.8%			18.2%

■ 参考資料 レポート作成手順における生成 AI 補助的活用法のイメージ ■

■ 1) 基本的なレポート作成の目的、種類、手順・工程とは：

レポートの種類：論証型、説明型、報告型、実証型、制作型 などがある。

レポートの作成手順・工程 と 自分のスキルアップにつながる生成 AI のサポート（補助的な使い方）の仮説

→ 生成 AI に出す指示、質問内容、活用法のガイドライン

1) 論点を定める、アイデアを固める

→ 論点やアイデアの整理と選別：自分の考えた論点、アイデアをたたき台として、**生成 AI と何度も議論**してみる

2) 論点に関する文献などを調査する

→ 生成 AI に文献などの例示をたずねて、**その文献などを自分で読み、適切に引用する。**

3) データ分析、制作などの実作業を進める

→ 生成 AI に**データ分析の過程、統計的処理、適正なグラフ化方法などをたづねて、自分で比較し適切に採用**する

4) レポートの論旨や手順を組み立てて、執筆を進める

→ **まずは自分で執筆して、必要があれば、自分の文章を、生成 AI に評価をしてもらう**

5) 校正や推敲によりレポートを仕上げる

→ 生成 AI に「読みにくい点があれば、代案を出してください」といった校正などを指示する

生成 AI の修正案を読み返し、修正点を確認し、レポート全体との整合性なども自分で判断して、文章を修正する

■ 2) 生成 AI の基本操作：良質な回答を引き出すプロンプトの基本（その生成 AI の取り扱い書をきちんと読む（学ぶ））

生成 AI 各社からプロンプトに関するガイドラインは逐次更新されている。下記は Open AI 2025/04 ルール 項目。

1) 最新モデルを使う

2) プロンプトの先頭にまず指示を書き、### または “ “ “ を使って指示（タスク）、文脈（背景）、入力情報、出力形式を区切る

3) 希望する文脈、目的、結果、長さ、形式、スタイルなどについては、具体的、説明的に、そしてできる限り詳細に説明する

4) 自分が希望する回答形式の例を明確に示す（出力形式）

5) （対話で修正する）ゼロショットから指示を初めて、それで満足できなければフューショットを試し、それでも満足できなかったらファインチューニングを試みる。

※ ゼロショット：具体例を出さない指示 ※ フューショット：いくつかの具体例を示した指示

ファインチューニング：新しいデータへの対応力を高めたり、求めている内容に近い選択を取れるように新しい

学習データ生成 AI に学習させ、かつ生成 AI 用のニューラルネットワークのパラメーターなどをチューニングすること

6) 不明確な表現を避ける

7) 「これを使わないでください」という禁止的な表現を避ける代わりに、「こうしてください」というように、回答すべきことを指定する。

※ よく利用されるのは「**ロールプレイング・プロンプティング**」：AI に特定の立場をプロンプトの冒頭に与える方法。

■ 3) 有効なプロンプトは学問分野ごとに大きく異なる。またレポート作成の最終的な目的は、個々人によって異なり、生成 AI の使い方もユーザー自身の経験によって補完されるものである。**レポート作成における生成 AI の活用方法は、生成 AI 登場以前に、レポート作成時に「友人や担当教員に質問や議論を投げかける」、「図書館や書店に足を運ぶ」、「専用サイトで検索する」ことなどの発展形としてとらえると多くのヒントが得られる。**レポートと論文は、目的や手順・工程が異なる。生成 AI の活用方法も異なってくる。

5) パソコンスキルについて（1／6） 高校時代のパソコンスキル・大学生のパソコンスキル

■ ICT機器を利用した レポート作成、情報検索、プレゼン、メール の自信度を、高校時代、大学生の現時点についての自己評価を調査した項目の結果である。

◆ 全体としては、大学生の自己評価は、高校時代よりアップしている。

◆ 次ページの「1年生」「上級生」に分解したデータをみると、下記のような傾向がみられた。

- ・ 高校時代の「レポート作成」「プレゼン」「情報収集」についての自己評価は、上級生より1年生の方が高い
- ・ 大学1年生 と 上級生の自己評価の比較では、すべての項目で1年生が低く、かつ 高校時代の自己評価との差異も少ない。
- ・ 大学入学直後の4月～5月のアンケートは、同時に1年生のレポート提出体験などが始まる時期でもあり、自身が持てないままに1年生が大学生活を始めている傾向が読み取れる。

	全国							
	高校 レポート	大学 レポート	高校 情報収集	大学 情報収集	高校 プレゼン	大学 プレゼン	高校 メール	大学 メール
01_よくできるほうだ	9.8%	14.8%	14.4%	17.8%	11.2%	13.9%	10.8%	14.8%
02_できるほうだ	31.3%	42.8%	45.0%	49.7%	34.2%	38.4%	31.5%	40.1%
03_あまり得意ではない	36.0%	33.0%	30.4%	26.6%	36.5%	34.1%	36.5%	34.4%
04_不得意	11.6%	7.1%	7.3%	5.1%	12.0%	8.0%	11.0%	7.4%
05_操作をおこなったことがない	11.3%	2.4%	2.9%	0.8%	6.1%	5.7%	10.1%	3.4%

	岐阜大学							
	高校 レポート	大学 レポート	高校 情報収集	大学 情報収集	高校 プレゼン	大学 プレゼン	高校 メール	大学 メール
01_よくできるほうだ	7.9%	14.9%	13.9%	19.4%	10.5%	14.5%	9.6%	14.9%
02_できるほうだ	30.8%	47.8%	45.9%	52.6%	31.7%	40.8%	27.9%	42.5%
03_あまり得意ではない	36.1%	28.8%	29.2%	22.4%	37.0%	32.9%	39.7%	32.6%
04_不得意	12.1%	6.5%	7.2%	4.9%	13.5%	7.7%	10.9%	7.1%
05_操作をおこなったことがない	13.0%	1.9%	3.8%	0.7%	7.5%	4.1%	12.0%	2.9%

【高校まで】レポート作成	1年生	上級生	総計
よくできるほうだ	5.9%	9.1%	7.9%
できるほうだ	34.6%	28.4%	30.8%
あまり得意ではない	36.4%	36.0%	36.1%
不得意	12.6%	11.8%	12.1%
操作をおこなったことがない	10.5%	14.7%	13.0%

【高校まで】情報収集	1年生	上級生	総計
よくできるほうだ	12.2%	14.9%	13.9%
できるほうだ	48.6%	44.2%	45.9%
あまり得意ではない	28.7%	29.6%	29.2%
不得意	6.6%	7.6%	7.2%
操作をおこなったことがない	3.8%	3.8%	3.8%

【高校まで】プレゼン	1年生	上級生	総計
よくできるほうだ	10.5%	10.4%	10.5%
できるほうだ	35.3%	29.3%	31.7%
あまり得意ではない	35.0%	38.2%	37.0%
不得意	13.6%	13.3%	13.5%
操作をおこなったことがない	5.6%	8.7%	7.5%

【高校まで】メールやチャット	1年生	上級生	総計
よくできるほうだ	7.0%	11.3%	9.6%
できるほうだ	27.3%	28.2%	27.9%
あまり得意ではない	42.7%	37.8%	39.7%
不得意	12.2%	10.0%	10.9%
操作をおこなったことがない	10.8%	12.7%	12.0%

【大学】レポート作成	1年生	上級生	総計
よくできるほうだ	5.6%	20.9%	14.9%
できるほうだ	40.2%	52.7%	47.8%
あまり得意ではない	38.8%	22.4%	28.8%
不得意	10.5%	4.0%	6.5%
操作をおこなったことがない	4.9%	0.0%	1.9%

【大学】情報収集	1年生	上級生	総計
よくできるほうだ	12.6%	23.8%	19.4%
できるほうだ	51.0%	53.6%	52.6%
あまり得意ではない	28.0%	18.9%	22.4%
不得意	6.6%	3.8%	4.9%
操作をおこなったことがない	1.7%	0.0%	0.7%

【大学】プレゼン	1年生	上級生	総計
よくできるほうだ	8.4%	18.4%	14.5%
できるほうだ	33.9%	45.1%	40.8%
あまり得意ではない	36.4%	30.7%	32.9%
不得意	11.2%	5.6%	7.7%
操作をおこなったことがない	10.1%	0.2%	4.1%

【大学】メールやチャット	1年生	上級生	総計
よくできるほうだ	6.6%	20.2%	14.9%
できるほうだ	36.0%	46.7%	42.5%
あまり得意ではない	40.9%	27.3%	32.6%
不得意	10.5%	4.9%	7.1%
操作をおこなったことがない	5.9%	0.9%	2.9%

■ レポート作成スキルアップ感
は、上級生が大きく高い

■ 情報収集スキルアップ感
は「よくできるほう：層で
上級生が多い

■ プレゼンスkillsアップ感
は上級生が大きく高い
1年生の「操作未体験」
は、別項目で見るように
プレゼンが必要な授業が
ないことを反映している

■ メールやチャットスキル
アップ感、上級生が大き
く高い
また高校時代との比較で
1年生のスキルアップ感も
大きい

5) パソコンスキルについて (2/6)

パソコンスキル上昇度順.1	1年生	上級生	総計
パソコンでのレポート作成	42.7%	44.4%	43.8%
パソコンを利用した情報収集	33.9%	21.6%	26.4%
パソコン操作によるコミュニケーション(メールやチャット)	16.4%	15.1%	15.6%
パソコン操作によるプレゼンテーション	7.0%	18.9%	14.3%

パソコンスキル上昇度順.2	1年生	上級生	総計
パソコンを利用した情報収集	33.2%	28.4%	30.3%
パソコンでのレポート作成	25.2%	31.3%	28.9%
パソコン操作によるプレゼンテーション	21.3%	22.2%	21.9%
パソコン操作によるコミュニケーション(メールやチャット)	20.3%	18.0%	18.9%

パソコンスキル上昇度順.3	1年生	上級生	総計
パソコン操作によるプレゼンテーション	37.4%	30.7%	33.3%
パソコン操作によるコミュニケーション(メールやチャット)	20.6%	27.8%	25.0%
パソコンを利用した情報収集	21.0%	26.2%	24.2%
パソコンでのレポート作成	21.0%	15.3%	17.5%

パソコンスキル上昇度順.4	1年生	上級生	総計
パソコン操作によるコミュニケーション(メールやチャット)	42.7%	39.1%	40.5%
パソコン操作によるプレゼンテーション	34.3%	28.2%	30.6%
パソコンを利用した情報収集	11.9%	23.8%	19.2%
パソコンでのレポート作成	11.2%	8.9%	9.8%

高校 → 大学 スキルアップ上昇度 認識

- この項目では、4つのスキルを、大学生になってからスキルアップ度の高い順番に並び替えて回答させている。
- 全学の上昇度1から4になった順序を、下記で分解している。
 - 1) 学年別
 - 2) 上昇度ランキングごとのランキング
- 1年生は、情報収集スキル上昇感が強い傾向
プレゼン、レポート作成スキルの上昇感は弱い傾向
- 上級生は、プレゼンスキルに上昇感が強い傾向
情報収集、コミュニケーションスキルの上昇感は弱い傾向

	高い			低い
1年生	1	2	3	4
パソコンでのレポート作成	42.7%	25.2%	21.0%	11.2%
パソコンを利用した情報収集	33.9%	33.2%	21.0%	11.9%
パソコン操作によるプレゼンテーション	7.0%	21.3%	37.4%	34.3%
パソコン操作によるコミュニケーション(メールやチャット)	16.4%	20.3%	20.6%	42.7%
上級生	1	2	3	4
パソコンでのレポート作成	44.4%	31.3%	15.3%	8.9%
パソコンを利用した情報収集	21.6%	28.4%	26.2%	23.8%
パソコン操作によるプレゼンテーション	18.9%	22.2%	30.7%	28.2%
パソコン操作によるコミュニケーション(メールやチャット)	15.1%	18.0%	27.8%	39.1%

5) パソコンスキルについて (3/6) パソコンスキルの学び方

■ パソコンスキルの学び方の結果は、ジャンル別でみると下記のような結果

	1年生	上級生	全体
ネット利用			
ネットで調べた（生成 AI を除く）	41.6%	54.0%	49.2%
生成 AI を利用した	16.1%	23.3%	20.5%
Youtube 等の動画で学んだ	11.9%	16.2%	14.5%
講座・授業利用			
大学のPCの授業を受講した	16.8%	22.9%	20.5%
生成ののPC講座に参加した	27.3%	14.4%	19.4%
友人・家族から教わった	34.3%	35.6%	35.1%

■ パソコンスキルの学び方で、生成 AI を利用する比率は下記のとおり、まだ少ない

1年生 16.1%

上級生 23.3%

生成 AI の利用は無料版どまりで、無料版の枠内での利用であれば、この比率にならざるを得ないともいえる。

Google 検索の結果に「AI による概要」が表示され、ゼロクリック状態で利用するユーザーが多くなっている状況が多くなっている。

今回の調査では、検索後の行動をダイレクトに問う項目はないが、いわゆる AI 彼氏・彼女問題もふくめて、生成 AI 活用スキル情報 と実習形式で体験できる場の提供が必要とされている。

	286		141	123	106	14	9	52	5		736
スキルアップ方法(複数)	1年生	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	大学院修	大学院博	上級生	総計
ネットで調べた(生成AIを除く)	41.6%		41.1%	51.2%	64.2%	57.1%	66.7%	69.2%	80.0%	54.0%	49.2%
生成AIを利用した	16.1%		22.0%	26.0%	24.5%	21.4%	33.3%	19.2%		23.3%	20.5%
Youtube等の動画で学んだ	11.9%		12.1%	10.6%	19.8%	21.4%	55.6%	23.1%	40.0%	16.2%	14.5%
友人や家族から教わった	34.3%		41.1%	31.7%	34.9%	35.7%	55.6%	28.8%	20.0%	35.6%	35.1%
大学のPCの授業を受講した	16.8%		21.3%	28.5%	25.5%		11.1%	19.2%		22.9%	20.5%
生協のPC講座に参加した	27.3%		17.7%	22.0%	10.4%			3.8%		14.4%	19.4%
特にしていない、自然に使えるようになった	3.8%		5.7%	3.3%	2.8%	14.3%		5.8%		4.4%	4.2%
独学	1.0%		2.1%	1.6%	1.9%					1.6%	1.4%
とにかく実践	0.3%			1.6%				3.8%		0.9%	0.7%
その他	3.1%		3.5%	3.3%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	2.2%	2.6%

5) パソコンスキルについて (4/6)

PCによるレポート作成体験

授業レポート作成	1年生	上級生	総計
あった	78.0%	97.6%	89.9%
なかった	22.0%	2.4%	10.1%

- 1年生の4月～5月でも、授業レポート作成の体験は、78.1%となっている。学部別の大きな偏りもなく、高校時代の体験をふまえる
と入学直後に学び直しが必要な学生層は一程度いることがわかる。

授業レポート作成 学部別	教育学部	地域科学部	社会システム工学部	応用生物科	共同獣医科	看護学科	医学科	大学院	総計
あった	87.6%	89.7%	100.0%	85.0%	86.6%	97.1%	98.0%	98.0%	89.9%
なかった	12.4%	10.3%		15.0%	13.4%	2.9%	2.0%	2.0%	10.1%
授業レポート作成 学部別 1年生	教育学部	地域科学部	社会システム工学部	応用生物科	共同獣医科	看護学科	医学科	大学院	総計
あった	70.7%	75.0%	100.0%	69.7%	75.7%	100.0%	100.0%	95.2%	78.0%
なかった	29.3%	25.0%		30.3%	24.3%			4.8%	22.0%
授業レポート作成 学部別 上級生	教育学部	地域科学部	社会システム工学部	応用生物科	共同獣医科	看護学科	医学科	大学院	総計
あった	98.4%	97.7%	100.0%	94.9%	100.0%	95.8%	96.0%	100.0%	97.6%
なかった	1.6%	2.3%		5.1%		4.2%	4.0%		2.4%

授業レポート作成 困りごと	1年生	上級生	総計
レポート作成方法	47.1%	50.6%	49.4%
Word、Excel、PowerPoint等の使い方	43.5%	50.1%	47.9%
メールやオンラインでの提出方法	30.0%	20.0%	23.4%
タイピング	25.1%	21.6%	22.8%
特にない	21.1%	23.7%	22.8%
プリンタやスキャナ等の周辺機器接続方法	8.1%	13.4%	11.6%
その他	1.8%	1.4%	1.5%

- レポート作成時の困りごとで、1年生：上級生比較で高い項目
1年生は、メールやオンラインでの提出方法 30.0%
タイピング 25.1%
※ 高校時代の経験の低さが影響
上級生は、Wordなどの使い方 50.1%
周辺機器接続方法や使い方 13.4%
※ 作成するレポートで、高いMS Officeスキルが
必要な場面が多くなっている可能性が高い。
例：教育学部 授業計画書の作成 など
工学部など、Excel を利用してのデータ分析 など

5) パソコンスキルについて (5/6)

プレゼン体験

授業プレゼン	1年生	上級生	総計
あった	29.4%	93.3%	68.5%
なかった	70.6%	6.7%	31.5%

- 1年生の4月～5月の、プレゼンの体験は、29.4%程度。
学部別の大きな偏りは、大きい。
ただし、2年生以上になると70%前後と急上昇する。
2年生になる前に、プレゼンスキルを一定以上にあげることが必要。

授業プレゼン	学部別	教育学部	地域科学音社会システム工学部	応用生物科共同獣医看護学科	医学科	大学院	総計					
あった		67.6%	76.5%	100.0%	63.7%	52.0%	74.3%	66.7%	78.4%	96.5%	68.5%	
なかった		32.4%	23.5%		36.3%	48.0%	25.7%	33.3%	21.6%	3.5%	31.5%	
授業プレゼン	学部別	1年生	教育学部	地域科学音社会システム工学部	応用生物科共同獣医看護学科	医学科				総計		
あった			22.0%	37.5%	100.0%	24.7%	24.3%	18.2%	38.5%	52.4%	29.4%	
なかった			78.0%	62.5%		75.3%	75.7%	81.8%	61.5%	47.6%	70.6%	
授業プレゼン	学部別	上級生	教育学部	地域科学音社会システム工学部	応用生物科共同獣医看護学科	医学科	大学院	総計				
あった			96.9%	97.7%	100.0%	89.1%	86.0%	100.0%	96.0%	96.7%	96.5%	93.3%
なかった			3.1%	2.3%		10.9%	14.0%		4.0%	3.3%	3.5%	6.7%
総計			64	44	12	137	57	24	25	30	57	450

プレゼン困りごと	1年生	上級生	総計
話し方・伝え方(うまく伝わらない)	46.5%	61.3%	55.6%
発表資料の作成	37.8%	41.8%	40.2%
PowerPointなどの操作方法	21.0%	22.0%	21.6%
オンラインでのプレゼンの資料の共有方法	12.9%	14.0%	13.6%
オンラインでのプレゼンの場合の、Zoom	9.8%	11.3%	10.7%
その他	22.7%	9.1%	14.4%

- プレゼン時の困りごとで、1年生：上級生比較で高い項目
上級生は、話し方・伝え方 61.3%
発表資料の作成 41.8%
- ※ 話し方・伝え方スキルをアップするには、定量の実践がおすすめ
1回の講習ではなく、数回のフィードバックをとる練習を
組み込んだ集中講座受講が一つのイメージ。
- ※ 発表資料の作成に活用できる生成 AI は多い。自分のプレゼン
スキルをアップする使い方の学びが必要。

授業プレゼン環境	1年生	上級生	総計
対面	88.1%	71.1%	77.7%
両方であった	5.9%	25.3%	17.8%
オンライン	5.9%	3.6%	4.5%

- 上級生になると、オンラインでのプレゼンが多くなる傾向。
社会システム経営学環、医学科、大学院 で顕著。
- ※ 医学科では、1年次でも 14.3%+19.0% と多い傾向
- オンライン時の Teams等 と PowerPoint の使い方ポイント
また 使用するパソコンの おすすめスペック メモリー 16GB以上
などの知識と操作スキルアップが必要である。

授業プレゼン環境 学部別			教育学部	地域科学部	社会システム工学部	応用生物科		共同獣医学部	看護学科	医学科	大学院	総計
対面			93.3%	72.1%	56.3%	71.2%	87.4%	91.4%	96.1%	54.9%	61.4%	77.7%
両方であった			6.7%	22.1%	43.8%	22.1%	7.1%	5.7%	2.0%	39.2%	35.1%	17.8%
オンライン				5.9%		6.6%	5.5%	2.9%	2.0%	5.9%	3.5%	4.5%
授業プレゼン環境 学部別 1年生			教育学部	地域科学部	社会システム工学部	応用生物科		共同獣医学部	看護学科	医学科		総計
対面			92.7%	83.3%	100.0%	91.0%	87.1%	90.9%	92.3%	66.7%		88.1%
両方であった			7.3%	8.3%		4.5%	4.3%		3.8%	19.0%		5.9%
オンライン				8.3%		4.5%	8.6%	9.1%	3.8%	14.3%		5.9%
授業プレゼン環境 学部別 上級生			教育学部	地域科学部	社会システム工学部	応用生物科		共同獣医学部	看護学科	医学科	大学院	総計
対面			93.8%	65.9%	41.7%	58.4%	87.7%	91.7%	100.0%	46.7%	61.4%	71.1%
両方であった			6.3%	29.5%	58.3%	33.6%	10.5%	8.3%		53.3%	35.1%	25.3%
オンライン				4.5%		8.0%	1.8%				3.5%	3.6%

5) パソコンスキルについて (6/6)

身につけたいスキル

身につけたいスキル	1年生	上級生	総計
Excel	73.1%	65.3%	68.3%
PowerPoint	69.9%	61.3%	64.7%
Word	66.8%	48.0%	55.3%
英会話や英語検定 (TOEIC/TOEFLなど含む)	51.0%	54.0%	52.9%
プレゼンテーションスキル	46.2%	54.4%	51.2%
レポート作成スキル	49.3%	45.6%	47.0%
プログラミング	29.0%	33.8%	31.9%
AI (Chat GPTなどの生成AIの使用方法含む)	26.2%	34.0%	31.0%
動画の作成・編集	26.9%	31.3%	29.6%
データサイエンス	16.8%	20.9%	19.3%
スポーツや身体的能力	20.3%	18.2%	19.0%
英語以外の外国語会話や検定	14.7%	15.6%	15.2%
OneDrive・DropBoxのようなクラウドアプリ	16.4%	13.8%	14.8%
OneNote等のノートアプリ	15.0%	9.8%	11.8%
その他	3.5%	3.3%	3.4%

- 1年生においては「Officeスキル」アップの希望が高い。
ICT 機器活用にかかわる「高校と大学の学びの変化」が背景にある。
- 「データサイエンス」スキルへの希望は、工学部以外が低い。
- 学部別分析では工学部以外は、生成 AI に関する関心が低い傾向にある。
- 半数近くの学生がアップを希望している「レポート」、「プレゼン」、「Office」、「英語」スキルアップは、生成 AI を活用することで、効果を上げられる可能性は高い。が、生成 AI スキルが必要である。
- 別紙 1 年生/上級生にわけてのスキルアップ分析も参考にしてほしい
- 社会が「大学卒業生に期待する」スキルに対応して、岐阜大学でも下記の4つ教育が行われています。

◇ コンピュータサイエンスリテラシー◇ Office スキル◇ 情報倫理・著作権・個人情報への理解◇ データサイエンス

今回の調査結果は、上記にあわせて「with AI」という ICT 環境の大きな変化への対応が求められているといえます。岐阜大学生協として何ができるのか。学生、教員との対話を踏まえながら検討し、提案をしてゆきます。

身につけたいスキル 学部別	教育学部	地域科学部	社会システム工学部	工学部	応用生物系	共同獣医学部	看護学科	医学科	大学院	総計
Excel	77.1%	70.6%	87.5%	67.3%	74.0%	65.7%	60.8%	56.9%	54.4%	68.3%
PowerPoint	72.4%	63.2%	75.0%	65.0%	69.3%	57.1%	58.8%	56.9%	54.4%	64.7%
Word	58.1%	55.9%	56.3%	57.1%	65.4%	31.4%	58.8%	41.2%	43.9%	55.3%
英会話や英語検定 (TOEIC/TOEFLなど含む)	39.0%	60.3%	81.3%	53.5%	59.1%	57.1%	45.1%	39.2%	61.4%	52.9%
プレゼンテーションスキル	46.7%	58.8%	56.3%	54.4%	55.1%	45.7%	37.3%	29.4%	63.2%	51.2%
レポート作成スキル	46.7%	42.6%	31.3%	50.9%	57.5%	42.9%	45.1%	29.4%	38.6%	47.0%
プログラミング	19.0%	23.5%	6.3%	49.6%	27.6%	14.3%	17.6%	29.4%	38.6%	31.9%
AI (Chat GPTなどの生成AIの使用方法含む)	21.0%	30.9%	37.5%	40.3%	23.6%	11.4%	17.6%	35.3%	47.4%	31.0%
動画の作成・編集	29.5%	38.2%	18.8%	35.0%	26.0%	22.9%	19.6%	29.4%	22.8%	29.6%
データサイエンス	6.7%	11.8%	12.5%	32.7%	17.3%	8.6%	3.9%	13.7%	29.8%	19.3%
スポーツや身体的能力	12.4%	19.1%	0.0%	24.3%	17.3%	25.7%	13.7%	21.6%	17.5%	19.0%
英語以外の外国語会話や検定	20.0%	19.1%	25.0%	12.4%	15.0%	11.4%	17.6%	15.7%	10.5%	15.2%
OneDrive・DropBoxのようなクラウドアプリ	18.1%	22.1%	12.5%	13.7%	15.0%	8.6%	7.8%	17.6%	12.3%	14.8%
OneNote等のノートアプリ	13.3%	10.3%	6.3%	11.1%	16.5%	5.7%	13.7%	9.8%	8.8%	11.8%
その他	1.0%	2.9%	0.0%	5.3%	3.1%	2.9%	3.9%	3.9%	1.8%	3.4%

5) パソコンスキルについて (6/6)

身につけたいスキル 学年変化

- 身に付けたいスキルを、1年生と上級生に分けて、学部別に比較した表が下記である。「1年生の数値」から「上級生の数値」を引いた値を表示。
プラスの数値は、1年生が意識しているスキル
マイナスの数値は、上級生が意識しているスキル となっている。
- 1年生において、「Office」スキルアップへの関心が高く、上級生になると「プレゼン」、「生成AI」、「プログラミング」スキルアップへの関心が高い。
- 看護学科の上級生において、「クラウドアプリ」スキルアップへの関心が高い。長期の看護実習の中で、OneDrive などによるデータ共有などが活用されている反映かもしれない

- 看護学科、地域科学部では、1年生の「レポート作成」スキルへの関心が高い傾向にある。
高校時代の「レポート作成」経験度が低いのかもしれない。

1年生が上は プラス 上級生が上は マイナス									
身につけたいスキル 学部別 1年生 - 上級生	教育学部	地域科学部	社会システム学部	工学部	応用生物科学部	共同獣医学部	看護学科	医学科	大学院 総計
Excel	1.5%	13.3%	16.7%	7.7%	7.0%	-3.0%	9.4%	0.5%	7.7%
PowerPoint	9.3%	5.3%	33.3%	5.8%	7.9%	-17.0%	13.4%	16.7%	8.6%
Word	16.7%	10.2%	58.3%	17.1%	16.7%	-6.1%	21.2%	27.1%	18.8%
英会話や英語検定 (TOEIC/TOEFLなど含む)	-12.0%	3.4%	-8.3%	-1.2%	5.3%	36.0%	-13.5%	-18.1%	-3.0%
プレゼンテーションスキル	-24.5%	5.7%	-41.7%	6.6%	-11.4%	-26.9%	-5.4%	-17.6%	-8.3%
レポート作成スキル	-12.5%	11.4%	-41.7%	1.3%	-0.8%	3.8%	33.5%	-1.4%	3.7%
プログラミング	-7.2%	-4.2%	-8.3%	-5.8%	2.3%	5.7%	3.2%	-17.6%	-4.8%
AI (Chat GPTなどの生成AIの使用法含む)	-14.4%	-22.0%	-16.7%	-3.4%	-1.7%	9.8%	11.1%	-3.3%	-7.8%
動画の作成・編集	-8.4%	-7.6%	8.3%	-0.2%	-7.0%	-6.8%	-8.6%	-9.5%	-4.4%
データサイエンス	-10.9%	1.1%	-16.7%	1.6%	2.8%	-12.5%	-8.0%	-7.1%	-4.1%
スポーツや身体的能力	-12.3%	-3.8%		11.8%	-3.6%	15.5%	3.4%	3.8%	2.1%
英語以外の外国語会話や検定	-16.8%	9.1%		1.8%	-1.5%	9.8%	3.2%	-10.5%	-0.9%
OneDrive・DropBoxのようなクラウドアプリ	2.3%	4.5%	16.7%	7.0%	-1.5%	0.8%	-8.2%	2.4%	2.7%
OneNote等のノートアプリ	-5.9%	16.3%	-8.3%	7.7%	7.7%	4.9%	-4.5%	-0.5%	5.3%
その他	2.4%	1.9%		0.5%	2.5%	-4.2%	-8.0%	-6.7%	0.2%

身につけたいスキル	学部別	1年生	教育学部	地域科学部	社会システム部	工学部	応用生物科	共同獣医科	看護学科	医学科		総計
Excel			78.0%	79.2%	100.0%	71.9%	77.1%	63.6%	65.4%	57.1%		73.1%
PowerPoint			78.0%	66.7%	100.0%	68.5%	72.9%	45.5%	65.4%	66.7%		69.9%
Word			68.3%	62.5%	100.0%	67.4%	72.9%	27.3%	69.2%	57.1%		66.8%
英会話や英語検定（TOEIC/TOEFLなど含む）			31.7%	62.5%	75.0%	52.8%	61.4%	81.8%	38.5%	28.6%		51.0%
プレゼンテーションスキル			31.7%	62.5%	25.0%	58.4%	50.0%	27.3%	34.6%	19.0%		46.2%
レポート作成スキル			39.0%	50.0%	0.0%	51.7%	57.1%	45.5%	61.5%	28.6%		49.3%
プログラミング			14.6%	20.8%	0.0%	46.1%	28.6%	18.2%	19.2%	19.0%		29.0%
AI(Chat GPTなどの生成AIの使用法含む)			12.2%	16.7%	25.0%	38.2%	22.9%	18.2%	23.1%	33.3%		26.2%
動画の作成・編集			24.4%	33.3%	25.0%	34.8%	22.9%	18.2%	15.4%	23.8%		26.9%
データサイエンス			0.0%	12.5%	0.0%	33.7%	18.6%	0.0%	0.0%	9.5%		16.8%
スポーツや身体的能力			4.9%	16.7%	0.0%	31.5%	15.7%	36.4%	15.4%	23.8%		20.3%
英語以外の外国語会話や検定			9.8%	25.0%	25.0%	13.5%	14.3%	18.2%	19.2%	9.5%		14.7%
OneDrive・DropBoxのようなクラウドアプリ			19.5%	25.0%	25.0%	18.0%	14.3%	9.1%	3.8%	19.0%		16.4%
OneNote等のノートアプリ			9.8%	20.8%	0.0%	15.7%	20.0%	9.1%	11.5%	9.5%		15.0%
その他			2.4%	4.2%	0.0%	5.6%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%		3.5%

身につけたいスキル	学部別	上級生	教育学部	地域科学部	社会システム部	工学部	応用生物科	共同獣医科	看護学科	医学科	大学院	総計
Excel			76.6%	65.9%	83.3%	64.2%	70.2%	66.7%	56.0%	56.7%	54.4%	65.3%
PowerPoint			68.8%	61.4%	66.7%	62.8%	64.9%	62.5%	52.0%	50.0%	54.4%	61.3%
Word			51.6%	52.3%	41.7%	50.4%	56.1%	33.3%	48.0%	30.0%	43.9%	48.0%
英会話や英語検定（TOEIC/TOEFLなど含む）			43.8%	59.1%	83.3%	54.0%	56.1%	45.8%	52.0%	46.7%	61.4%	54.0%
プレゼンテーションスキル			56.3%	56.8%	66.7%	51.8%	61.4%	54.2%	40.0%	36.7%	63.2%	54.4%
レポート作成スキル			51.6%	38.6%	41.7%	50.4%	57.9%	41.7%	28.0%	30.0%	38.6%	45.6%
プログラミング			21.9%	25.0%	8.3%	51.8%	26.3%	12.5%	16.0%	36.7%	38.6%	33.8%
AI(Chat GPTなどの生成AIの使用法含む)			26.6%	38.6%	41.7%	41.6%	24.6%	8.3%	12.0%	36.7%	47.4%	34.0%
動画の作成・編集			32.8%	40.9%	16.7%	35.0%	29.8%	25.0%	24.0%	33.3%	22.8%	31.3%
データサイエンス			10.9%	11.4%	16.7%	32.1%	15.8%	12.5%	8.0%	16.7%	29.8%	20.9%
スポーツや身体的能力			17.2%	20.5%	0.0%	19.7%	19.3%	20.8%	12.0%	20.0%	17.5%	18.2%
英語以外の外国語会話や検定			26.6%	15.9%	25.0%	11.7%	15.8%	8.3%	16.0%	20.0%	10.5%	15.6%
OneDrive・DropBoxのようなクラウドアプリ			17.2%	20.5%	8.3%	10.9%	15.8%	8.3%	12.0%	16.7%	12.3%	13.8%
OneNote等のノートアプリ			15.6%	4.5%	8.3%	8.0%	12.3%	4.2%	16.0%	10.0%	8.8%	9.8%
その他			0.0%	2.3%	0.0%	5.1%	1.8%	4.2%	8.0%	6.7%	1.8%	3.3%